

協会けんぽ静岡支部の加入者における疾病傾向分析 R1年度版

全国健康保険協会静岡支部

はじめに

本疾病傾向分析は、静岡県健康福祉部医療健康局健康増進課総合健康班の協力のもと、「令和元年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書」（以下「報告書」といいます。）のデータを用いて、当支部加入者について標準化該当比を算出し、全県と比較したものです。左側の地図が協会けんぽ加入者のみのデータです。

【抽出条件】

1. メタボリックシンドローム
2. メタボリックシンドローム予備群
3. 肥満者
4. 糖尿病有病者
5. 糖尿病予備群
6. 高血圧症有病者
7. 高血圧症予備群
8. 脂質異常症有病者
9. 喫煙者
10. LDL 180以上かつ喫煙者
11. 尿蛋白（+）以上該当者

【抽出条件の詳細】 ①

- ◎メタボリックシンドローム：男性腹囲85cm以上、女性90cm以上かつ、次の3項目のうち、2つ以上が該当
 - ①中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満、もしくはコレステロールを下げる薬を服用中
 - ②収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、もしくは血圧を下げる薬を服用中
 - ③空腹時血糖110mg/dl以上、またはHbA1c6.0%以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用中

- ◎メタボリックシンドローム予備群：上記と同様で、3項目のうち、1つに該当するもの

- ◎肥満者：次の3項目のいずれかに該当する者
 - ①BMI25以上で腹囲男性85cm以上、女性90cm以上
 - ②BMIのみ25以上
 - ③腹囲のみ男性85cm以上、女性90cm以上

- ◎糖尿病有病者：空腹時血糖126mg/dl以上、またはHbA1c6.5%以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用中

【抽出条件の詳細】 ②

- ◎糖尿病予備群：空腹時血糖110mg/dl以上126mg/dl未満、またはHbA1c6.5%以上。ただし、インスリン注射
または血糖を下げる薬を服用していない者

- ◎高血圧症有病者：収縮期血圧140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上、もしくは血圧を下げる薬を服用中

- ◎高血圧症予備群：①収縮期血圧130mmHg以上140mmHg未満、かつ拡張期血圧90mmHg未満である者
②収縮期血圧140mmHg未満、かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満であるが、
血圧を下げる薬を服用していない者

- ◎脂質異常有病者：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、またはLDLコレステロール
140mg/dl以上、もしくはコレステロールを下げる薬を服用中

- ◎習慣的喫煙者：合計100本以上、または6か月以上吸っている者であり、最近1か月間も吸っている者

- ◎LDL180mg/dl以上かつ喫煙者：左記のとおり

対象者内訳

	協 会			静岡県全県		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
40代	40.7%	37.4%	39.2%	32.8%	27.5%	30.4%
50代	31.9%	36.3%	33.8%	28.6%	26.8%	27.8%
60代	22.9%	22.2%	22.6%	25.2%	28.2%	26.6%
70代	4.5%	4.2%	4.4%	13.3%	17.5%	15.3%



- ◎全県と比較すると、協会けんぽ加入者は、40～50代の割合が6～9%程度多い。
- ◎60代は4%多いが、70代が10%程度少ない。

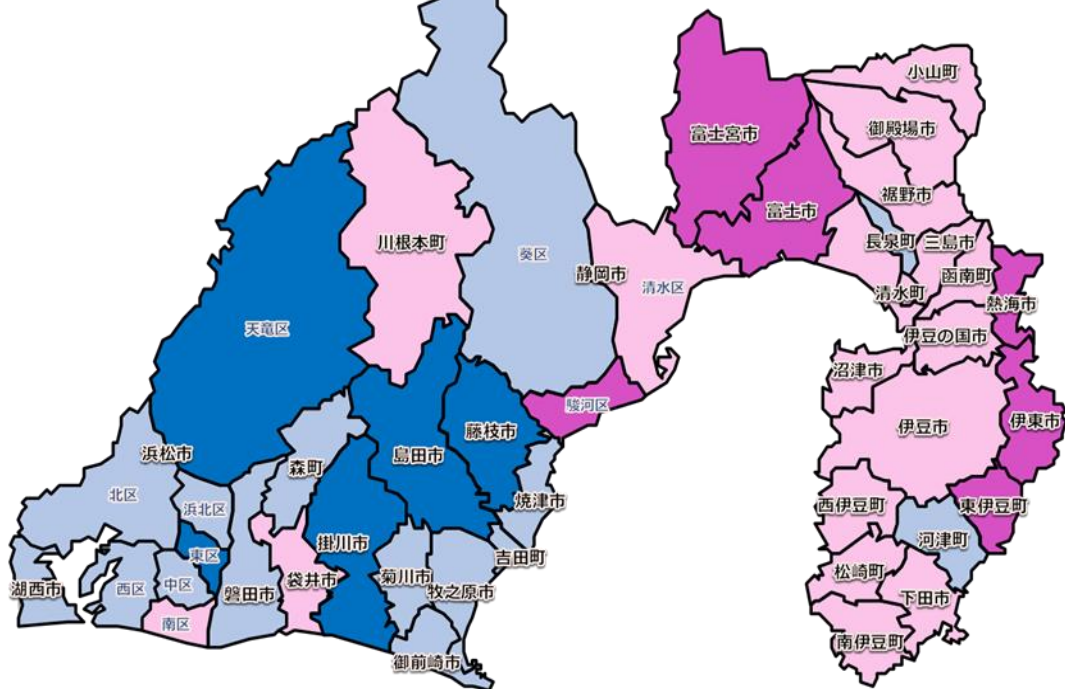
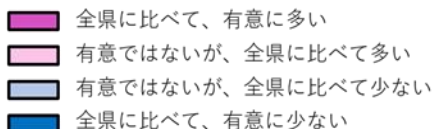
◎全県に比べて、若い年代が多い。そのため、健診結果に問題がある人や、服薬している人が、全県よりも割合が少ないと考えられる。

1-① メタボリックシンドローム該当者（男性）

- ◆ 協会：該当率が21.90%で、前年度よりも+0.82%（該当者数は+2,966人）となっている。前年度と比べると、地域全体の傾向は似ているが富士宮市（22.98%）、駿河区（22.95%）、富士市（22.90%）と年々割合は高くなっている。
- ◆ 静岡県全県：該当率が22.13%であり、協会の方が若干低い。有意に多い、または有意に少ない地域が二分化されてはいないので、平均化している傾向にある。

R1特定健診 【協会けんぽ】

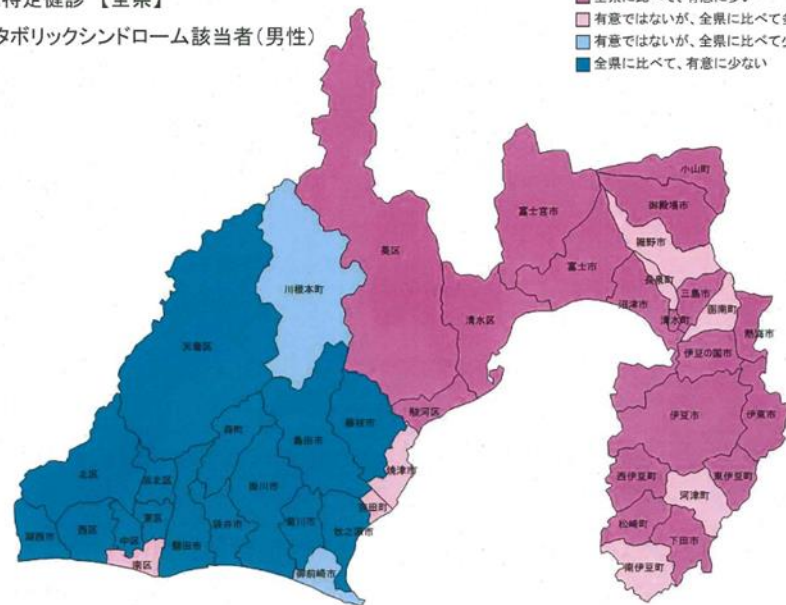
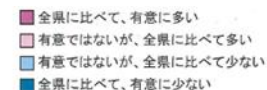
メタボリックシンドローム該当者（男性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【全県】

メタボリックシンドローム該当者（男性）

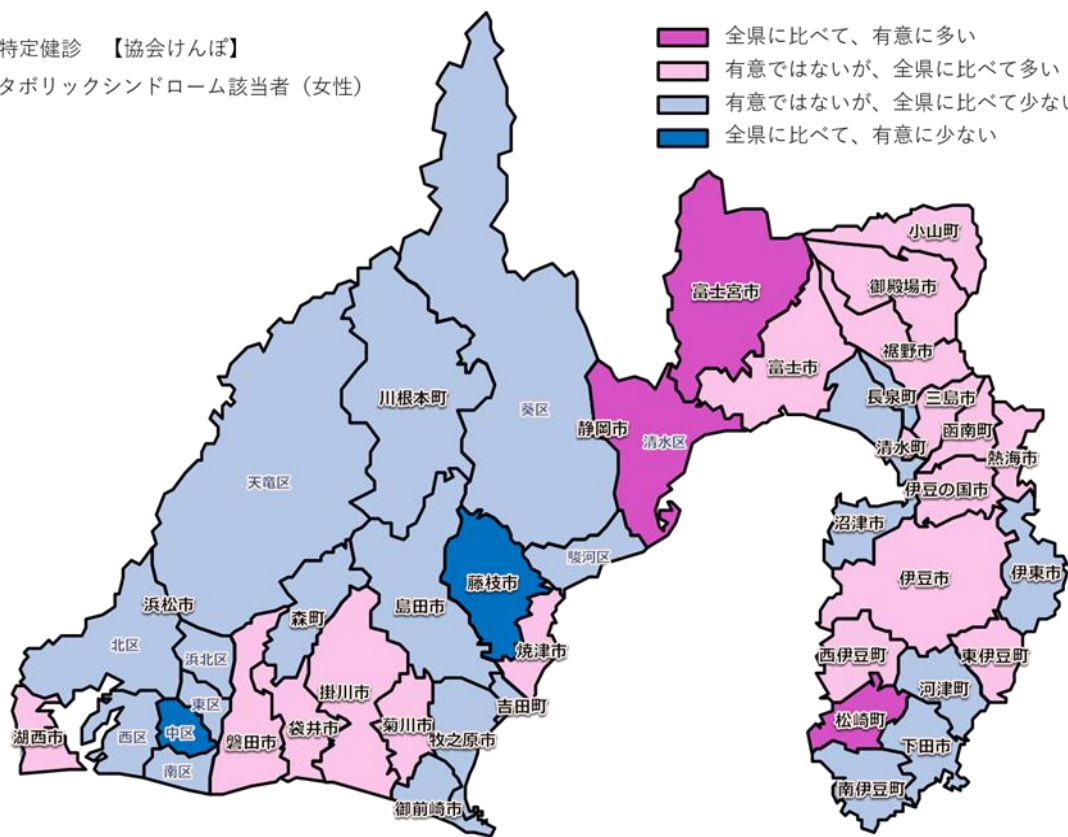
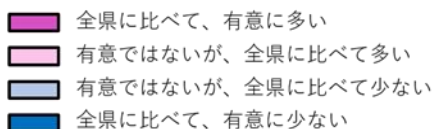


1-② メタボリックシンドローム該当者（女性）

- ◆ 協会：該当率が5.34%で、前年度よりも+0.44%（該当者は+1,372人）となっている。清水区（6.5%）・富士宮市（6.0%）であり、協会全体と比べて、前年より該当率も高くなっている。
- ◆ 静岡県全体：該当率が7.0%であり、協会の方が低い。有意に多い、または有意に少ない地域は少ないので、平均化している傾向にある。

R1特定健診 【協会けんぽ】

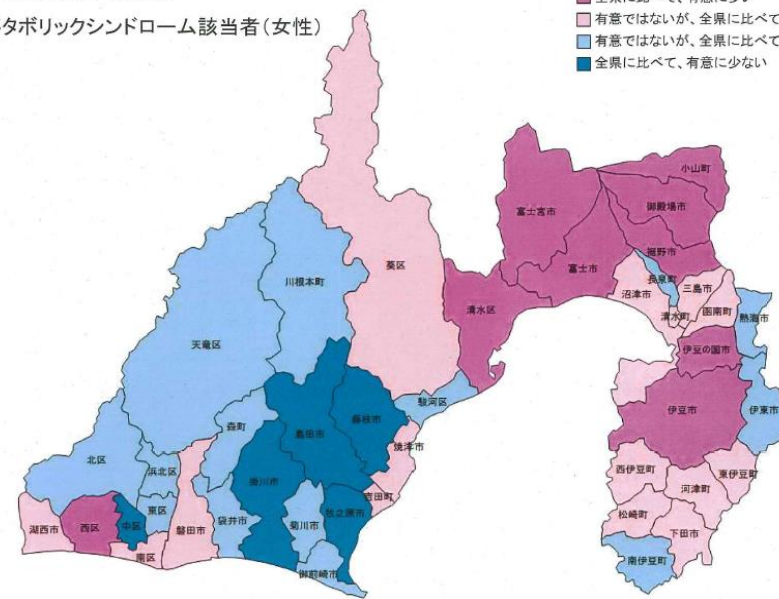
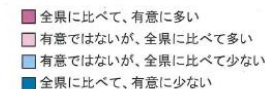
メタボリックシンドローム該当者（女性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診 【全県】

メタボリックシンドローム該当者（女性）

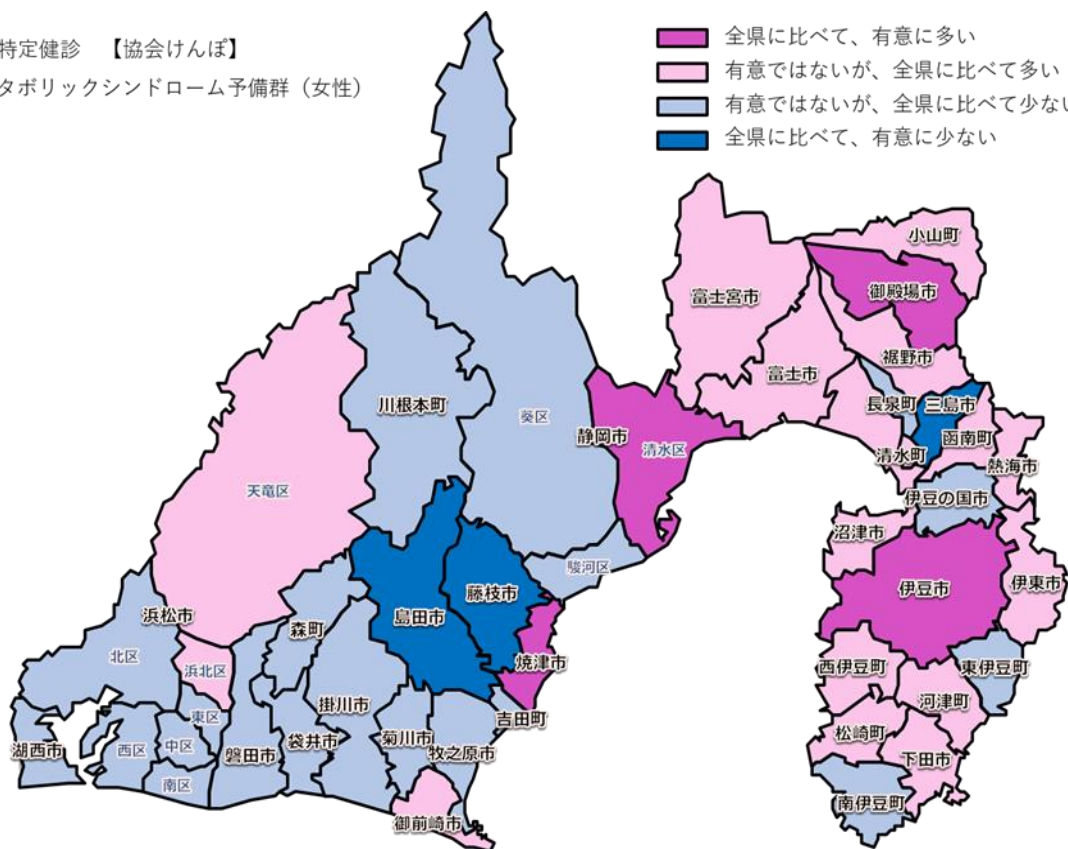
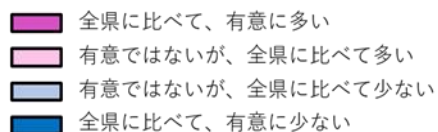


2-② メタボリックシンドローム予備群（女性）

- ◆ 協会：該当率は5.16%で、前年度よりも+0.37%（該当者数は+1,280人）となっている。有意に多い、有意に少ない地域が多く平均化の傾向にある。ただ、前年度と比べて御殿場市が有意に多い状況となっており、増加率も+60人で該当率が対前年+2.08%と高い伸びとなっている。そのため、今後の動向に注目する必要がある。
- ◆ 静岡県全体：該当率は4.87%であり、協会が約3%高い。地域の傾向は似ており、県全体よりも平均化している。ただ、焼津市は、静岡県全体と比べると、逆転の傾向にある。

R1特定健診 【協会けんぽ】

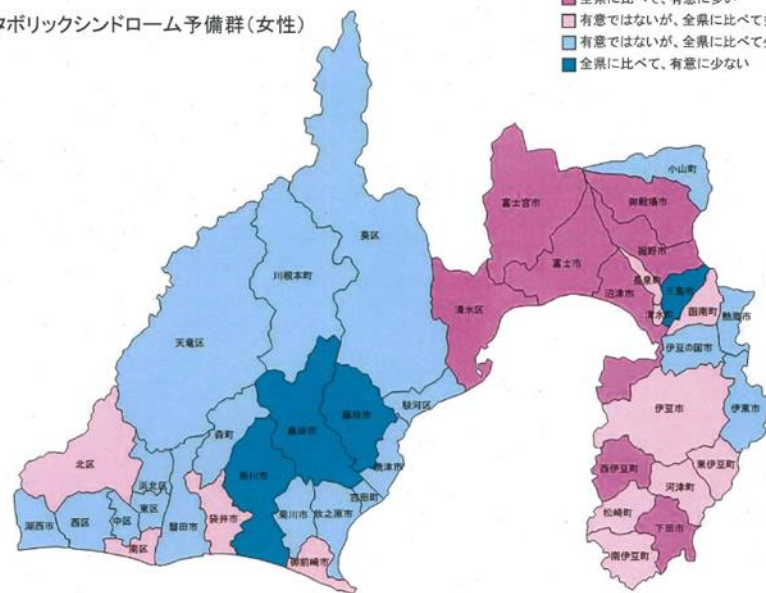
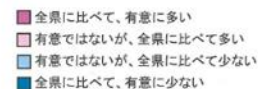
メタボリックシンドローム予備群（女性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【全県】

メタボリックシンドローム予備群（女性）

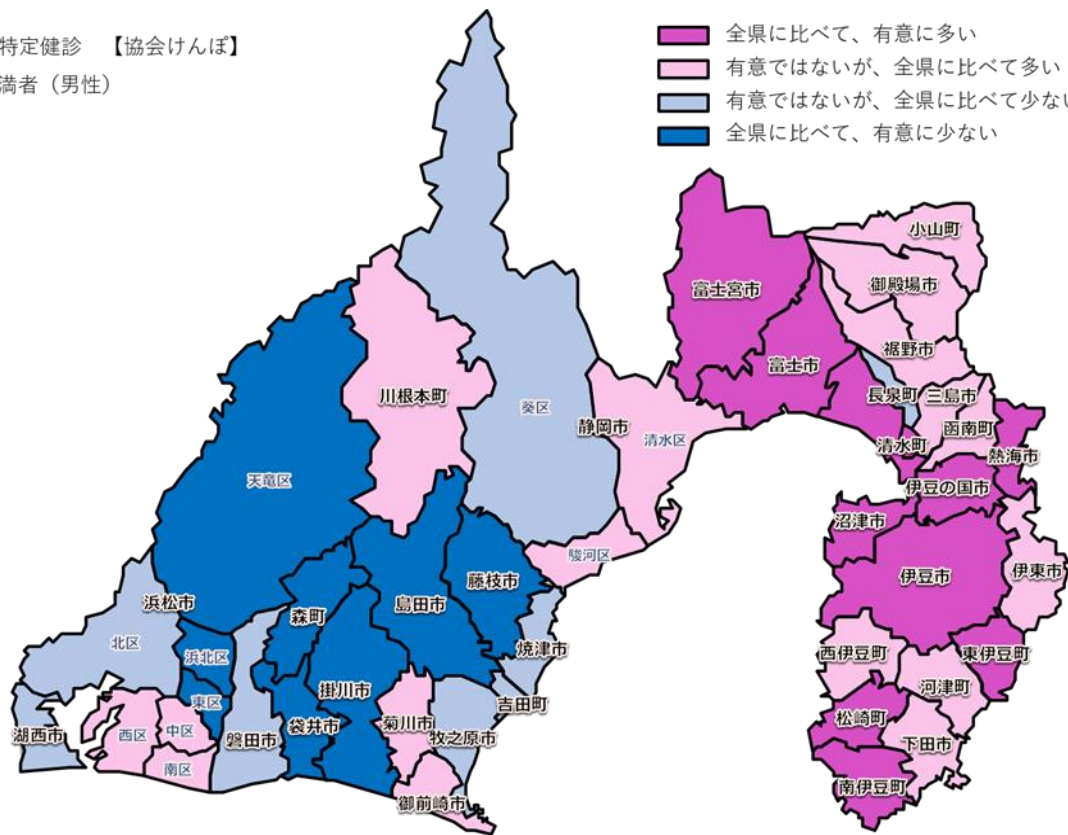
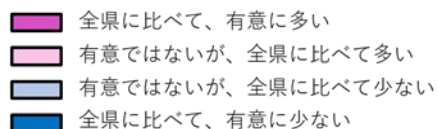


3-① 肥満者（男性）

- ◆ 協会：該当率が50.28%で、前年度よりも+1.21%（該当者数は+5,569人）となっている。前年度との比較では、傾向に変化は見られない。（静岡県全体も該当率が+0.94%）
- ◆ 静岡県全体：該当率が49.9%と、協会の方が若干高い割合である。地域の全体の傾向は似ているが、県全体ほど二極化はしていない。

R1特定健診 【協会けんぽ】

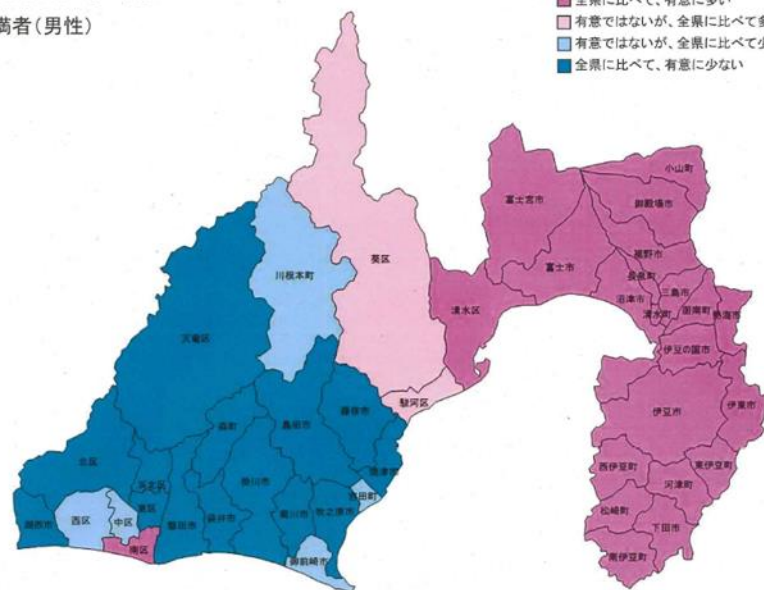
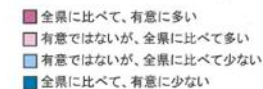
肥満者（男性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【全県】

肥満者（男性）



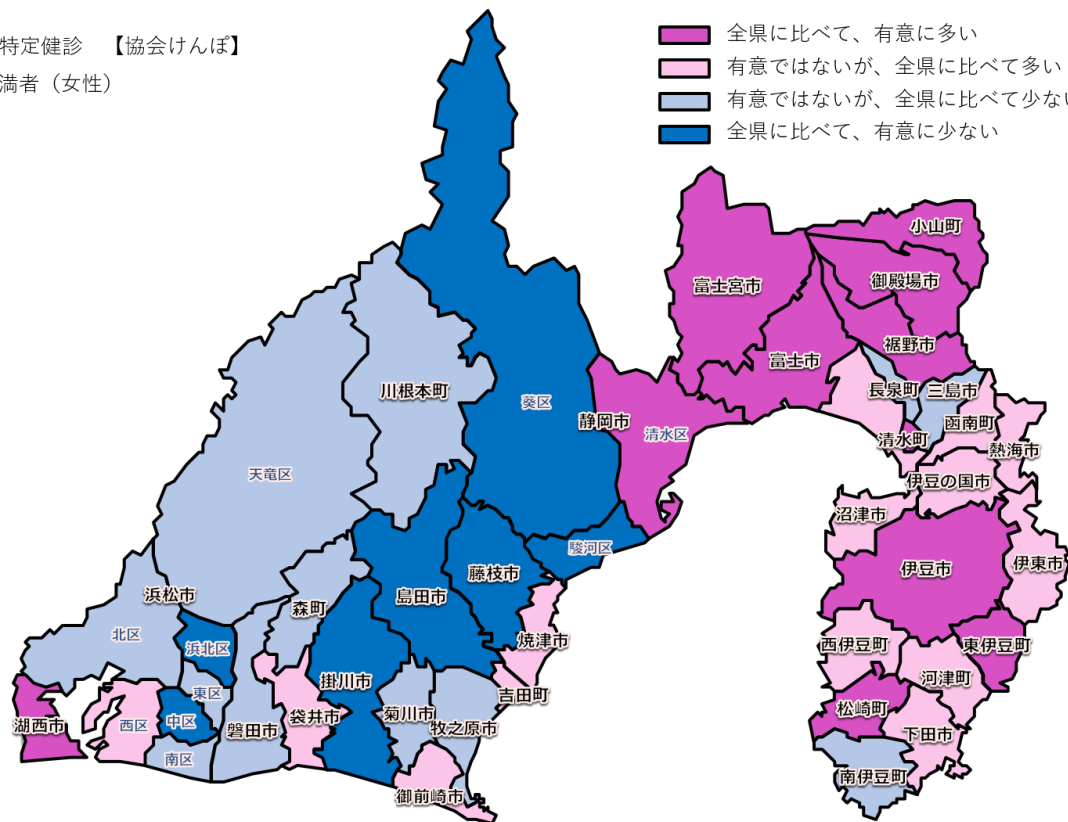
3-② 肥満者（女性）

- ◆ 協会：該当率は22.23%で前年度よりも+0.24%（該当者数は+4,028人）となっている。各市町を見ても、大幅に割合が増えているところはなく、増えている市町は1%程度の市町が多い。
- ◆ 静岡県全体：該当率が22.25%なので、特に大きな差はない。（県全体も該当率+0.33%）協会と傾向は似ている。

R1特定健診【協会けんぽ】

肥満者（女性）

- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

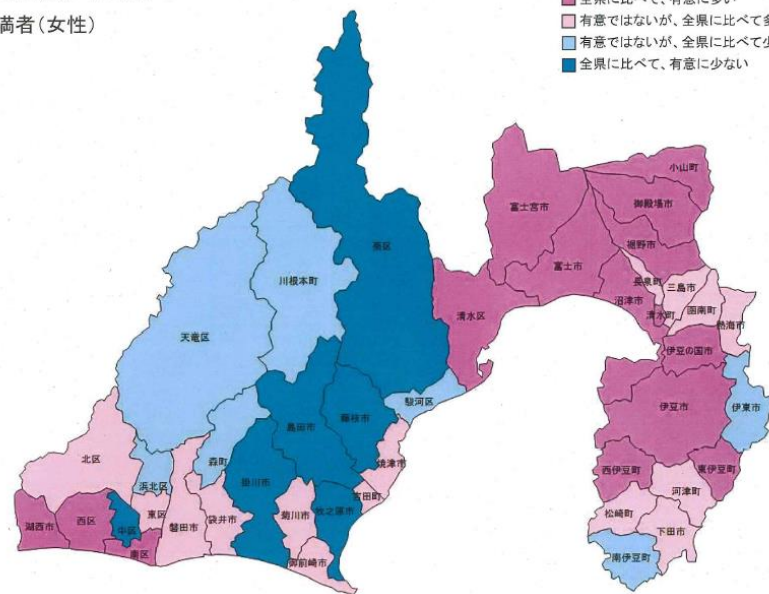


R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【全県】

肥満者（女性）

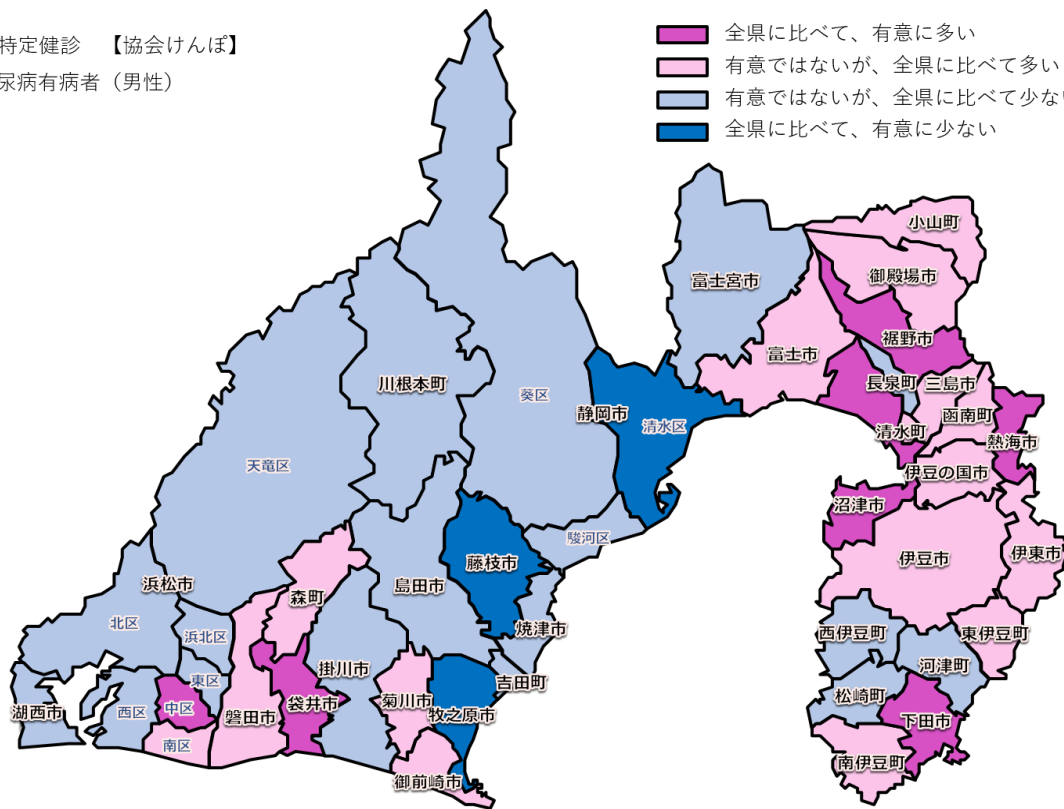
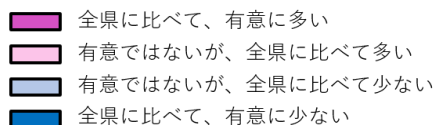
- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない



4-① 糖尿病有病者（男性）

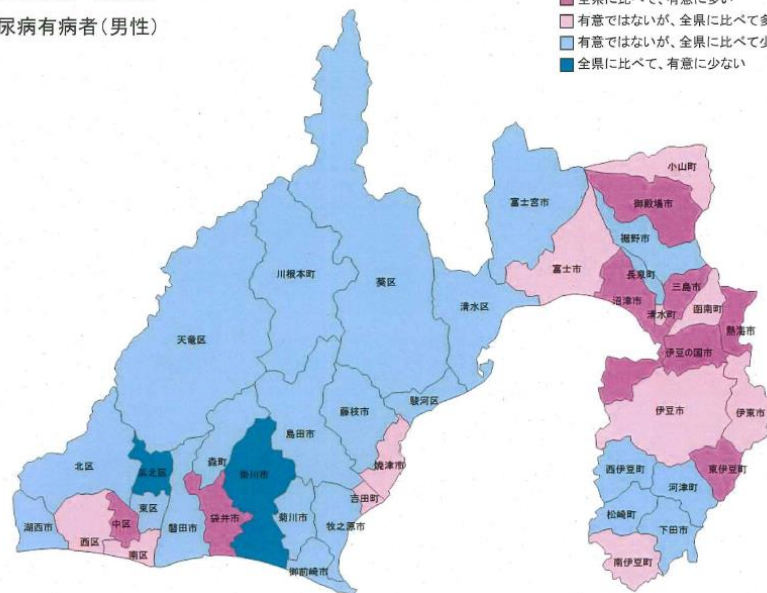
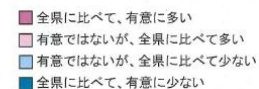
- ◆ 協会：該当率は12.10%で、前年度よりも+0.68%（該当者数は+1552人）となっている。前年度までは西部地域に有意に比べて多い地域がなかったが、今年度より、浜松市中区、袋井市が有意に多いとなっている。対前年の該当者数が+10.7%に対し、中区が13.8%、袋井市が15.8%と協会の増加率よりも高くなっている。今後の経過を見ていく必要がある。
- ◆ 静岡県全体：該当率が12.83%で、県全体よりも若干低い。傾向は似ているものの、下田市や裾野市など逆転して東部では多い地域があり、西部では少ない地域が見受けられる。

R1特定健診 【協会けんぽ】
糖尿病有病者（男性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診 【全県】
糖尿病有病者（男性）

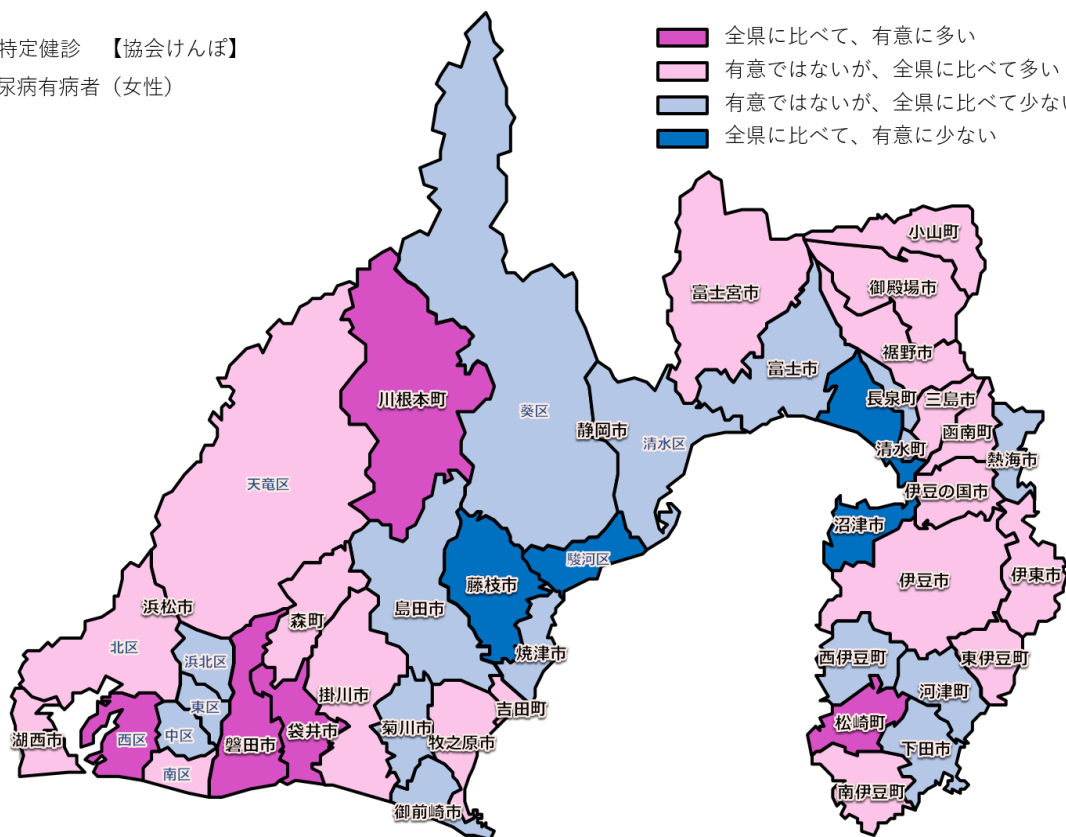
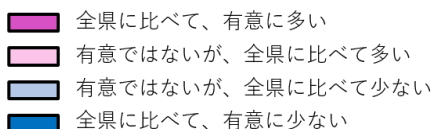


4-② 糖尿病有病者（女性）

- ◆ 協会：該当率は4.63%で、前年度よりも+0.05%（該当者数は+789人）となっている。前年度までは、西部地域に有意に比べて多い地域がなかったが、今年度より、浜松市西区、磐田市、袋井市が有意に多いとなっている。対前年の該当者数は、協会全体が+18.6%に対し、西区が34.2%、磐田市が34.8%、袋井市29.9%と協会の増加率よりも高くなっている。今後の経過を見ていく必要がある。
- ◆ 静岡県全体：該当率が6.19%なので、県よりも低い。傾向は似ているものの、有意的に多い・有意的に少ない場所が少なく、平均化している。一方で、松崎町は逆転の傾向にある。

R1特定健診 【協会けんぽ】

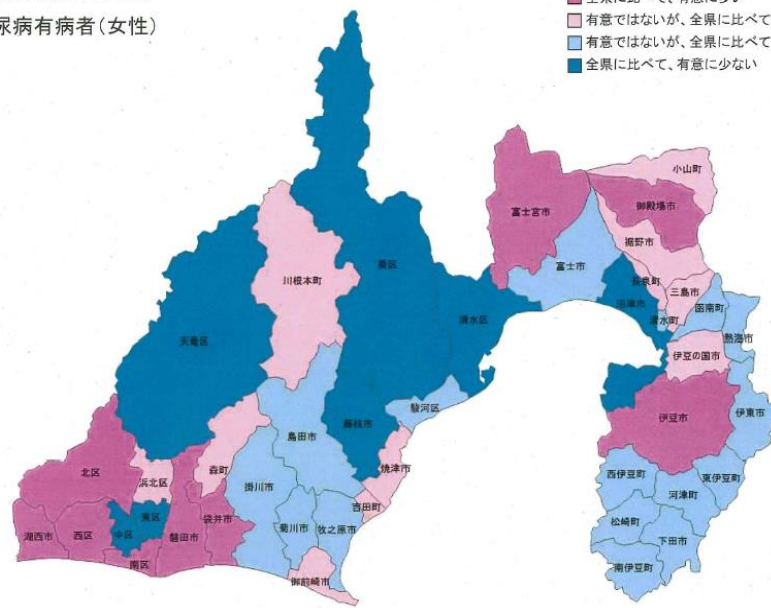
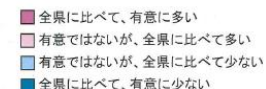
糖尿病有病者（女性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【全県】

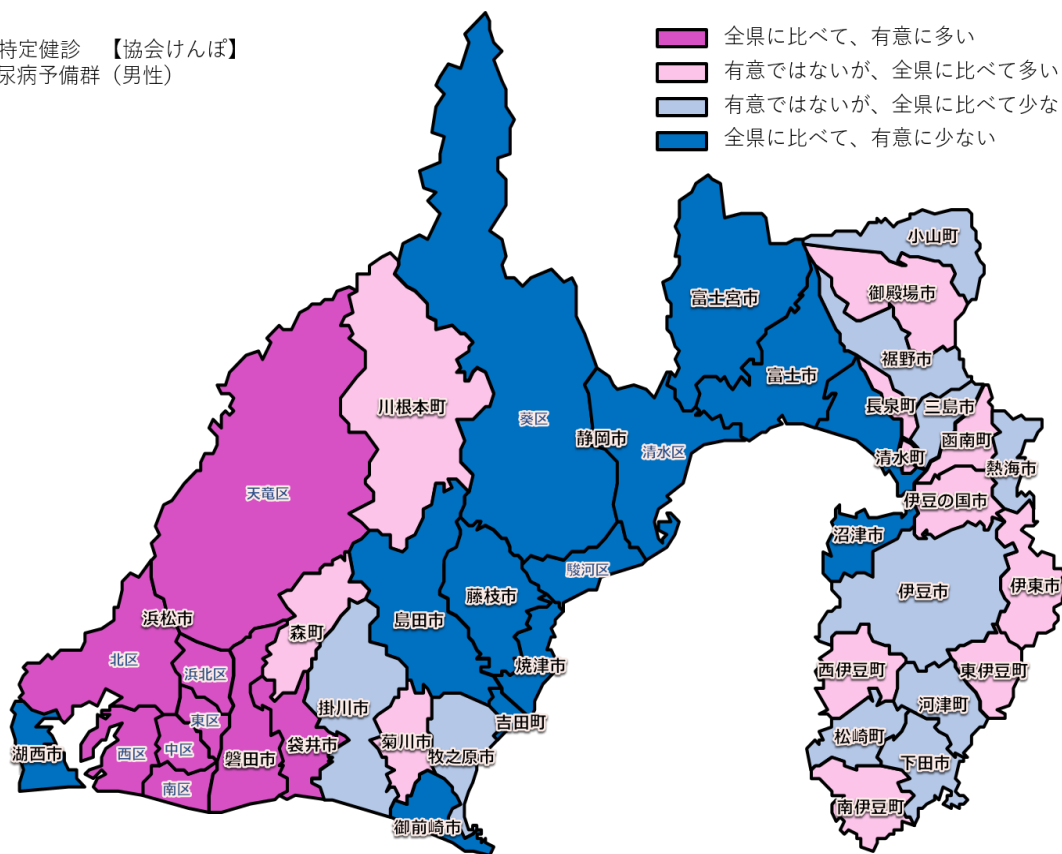
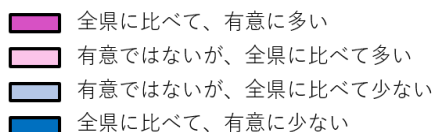
糖尿病有病者（女性）



5-① 糖尿病予備群（男性）

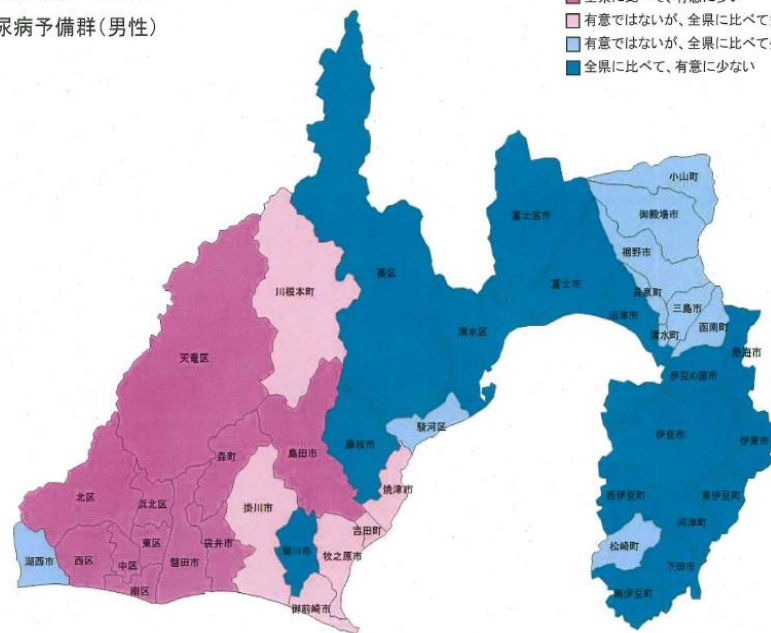
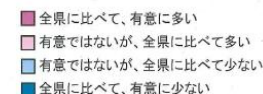
- ◆ 協会：該当率が11.70%で、対前年+0.61%（該当者数は+1,757人）となっている。前年度の協会データと比較すると、大きな変化はない。
- ◆ 静岡県全体：該当率13.34%なので、県よりも低い。地域の傾向は似ているものの、東部・伊豆地域に有意ではないが全県に比べて多い市町が点在している。浜松市は全区で全県に比べて有意に多い市町が多く、西高東低となっている。

R1特定健診 【協会けんぽ】
糖尿病予備群（男性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

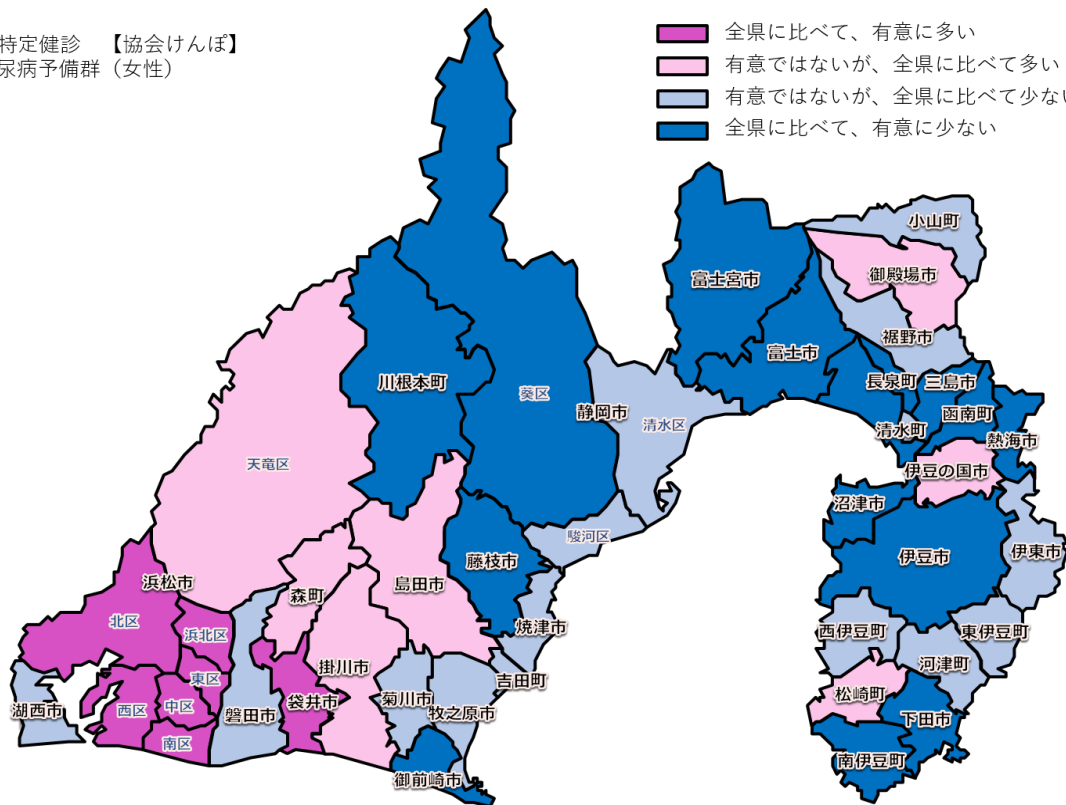
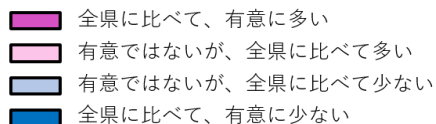
R1特定健診【全県】
糖尿病予備群（男性）



5-② 糖尿病予備群（女性）

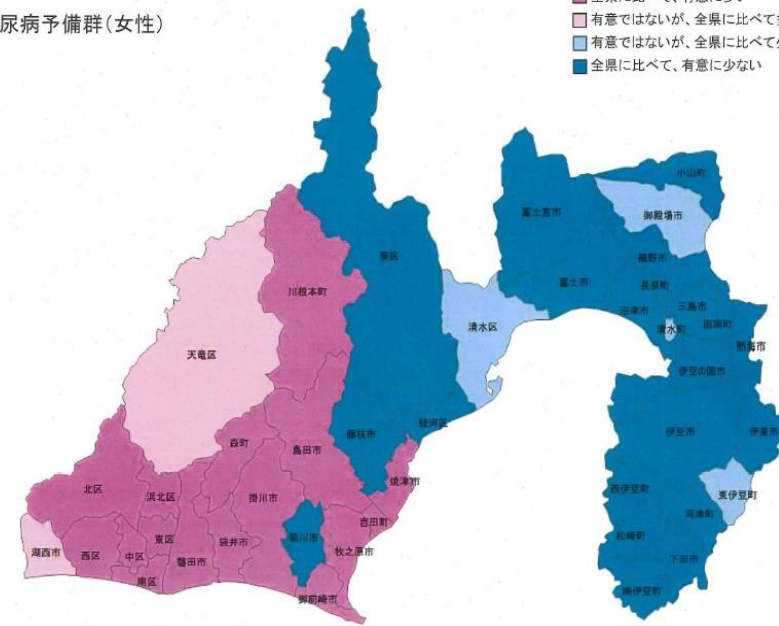
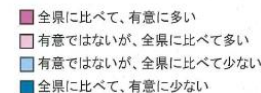
- ◆ 協会：該当率は7.61%で、対前年+1.08%（該当者は+2,411）となっている。前年度に比べ、有意に少ない地域が7→14か所に増えている。今後は静岡県全体のように二極化する傾向にある。特に中区、南区、袋井市の増加率が2%以上増加しているのが、問題である。
- ◆ 静岡県全体：該当率が10.87%なので、県よりも3%以上低い。県全体と傾向は似ているが、全県に比べて有意に多い市町が少ない。

R1特定健診 【協会けんぽ】
糖尿病予備群（女性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診 【全県】
糖尿病予備群（女性）

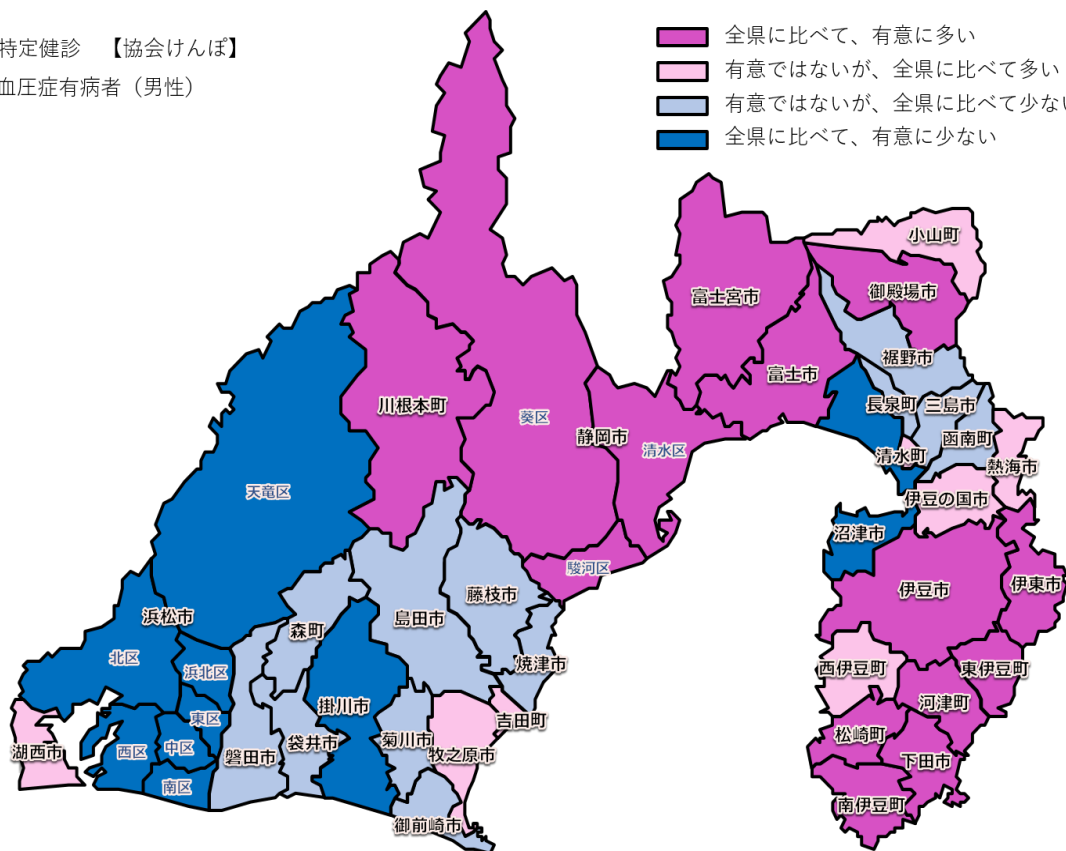
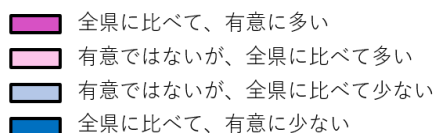


6-① 高血圧症有病者（男性）

- ◆ 協会：該当率は36.63%で、前年度+0.94%（該当者は+4,126人）となった。前年度とほぼ変化は見られない。昨年度も、有意に多い市町は、今年度も該当しており、該当率も+1~2%で推移している。
- ◆ 静岡県全体：該当率は39.19%で、協会の方が3%弱低い。傾向は同様なものの、沼津市など東部の一部では該当比の少ない地域が多い。

R1特定健診 【協会けんぽ】

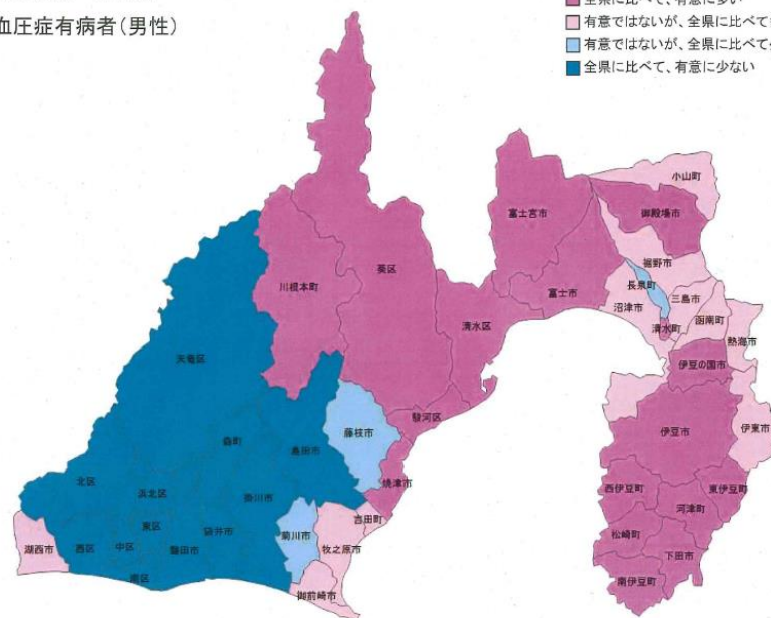
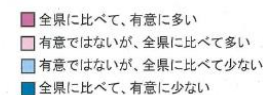
高血圧症有病者（男性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【全県】

高血圧症有病者（男性）

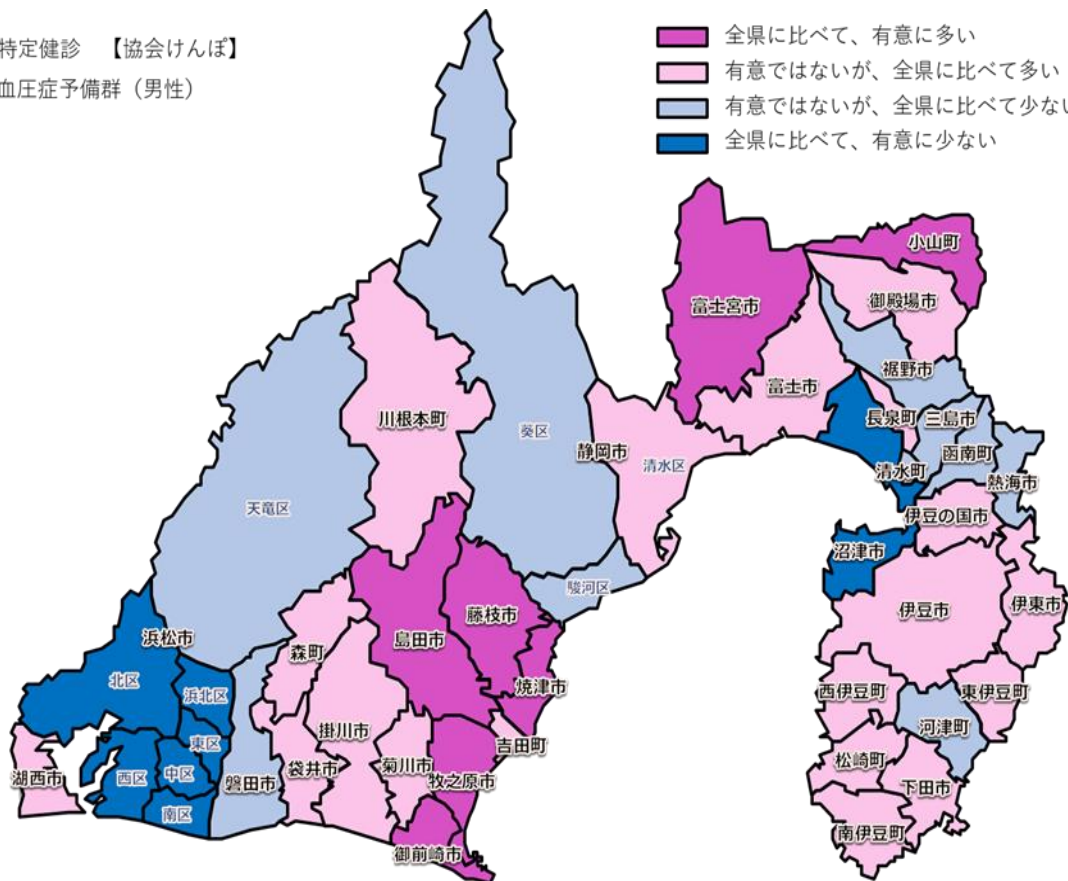
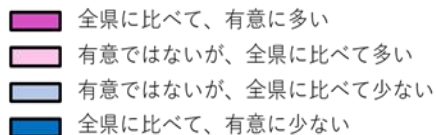


7-① 高血圧症予備群（男性）

- ◆ 協会：該当率12.50%で、前年度よりも-0.07%（該当者数は+862人）となっている。高血圧有病者とともに有意に多い市町は、富士宮市である。
- ◆ 静岡県全体：該当率は12.01%で、同程度である。県全体と傾向も似ている。有意に多い地域は少ないが、有意ではないが多い・少ない区市町が多数みられる。

R1特定健診 【協会けんぽ】

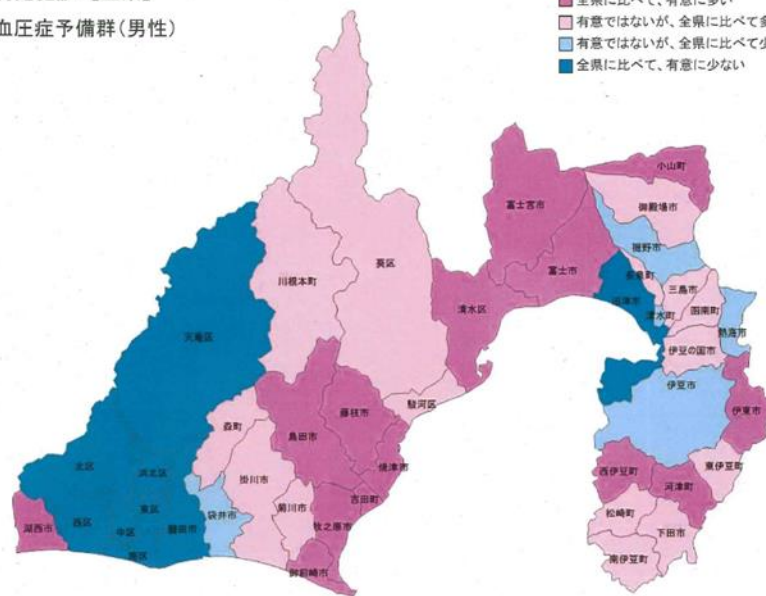
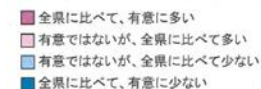
高血圧症予備群（男性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【全県】

高血圧症予備群（男性）

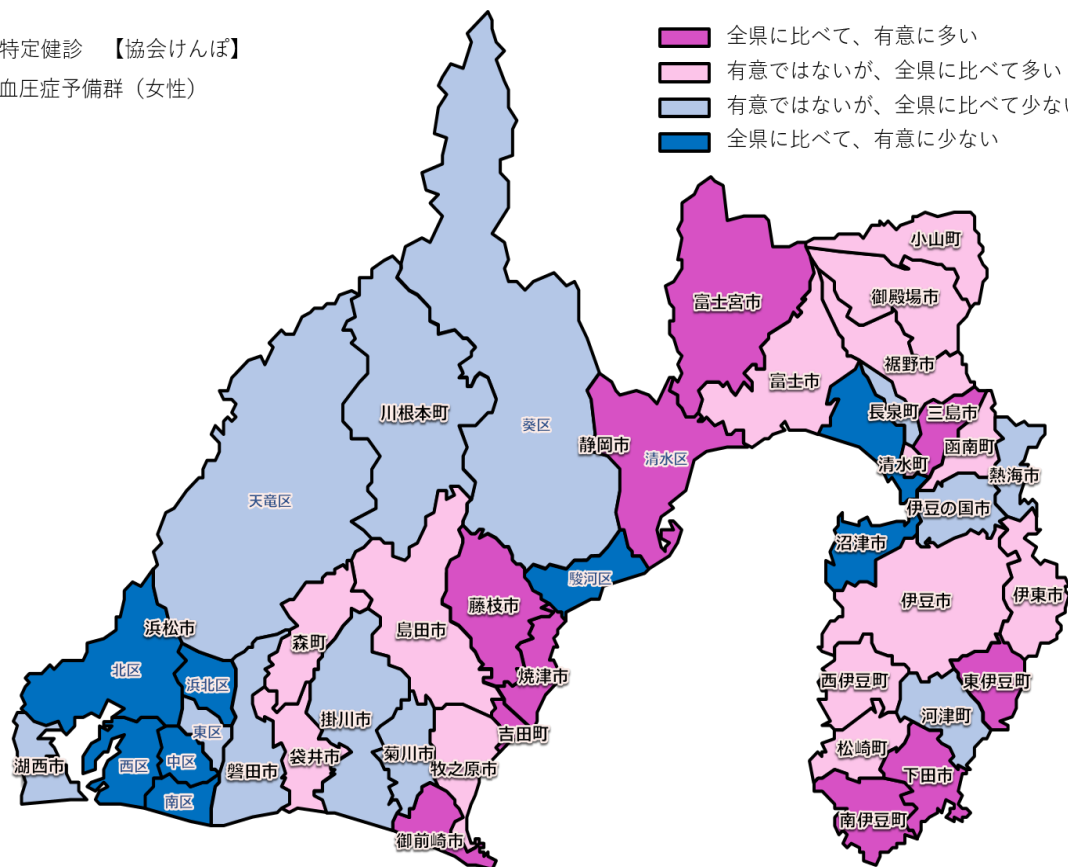
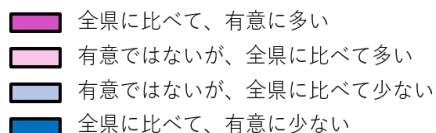


7-② 高血圧症予備群（女性）

- ◆ 協会：該当率は9.32%で、前年度よりも+0.18%（該当者数は+1,813人）となっている。高血圧有病者とともに有意に多い市町は、富士宮市（対前年+0.11%）、清水区（対前年+0.36%）となっている。
- ◆ 静岡県全体：該当者率は10.01%で、協会は若干低い。全県に比べて有意ではないが少ない地域が多い。

R1特定健診 【協会けんぽ】

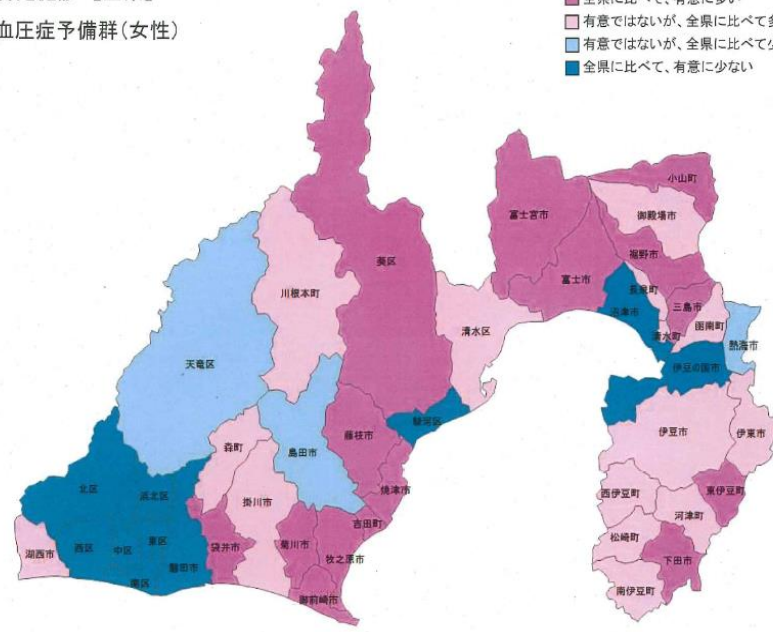
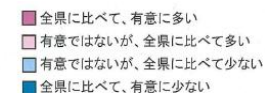
高血圧症予備群（女性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【全県】

高血圧症予備群（女性）

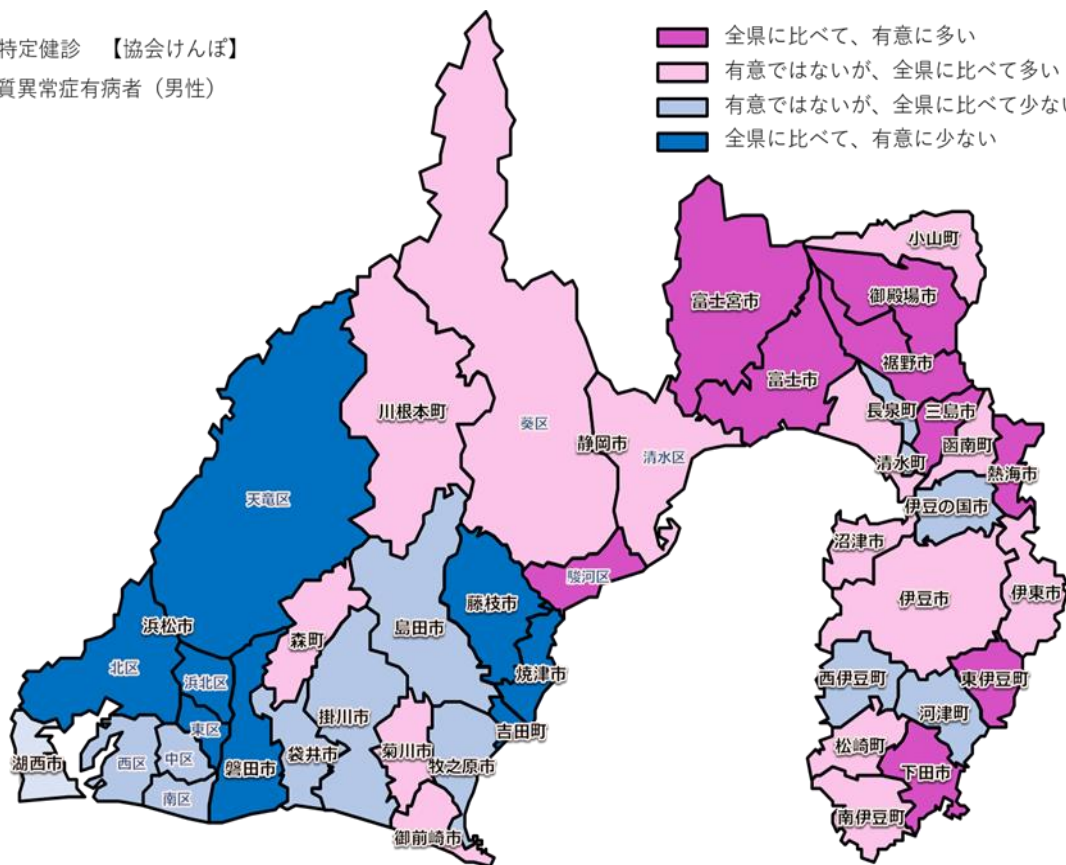
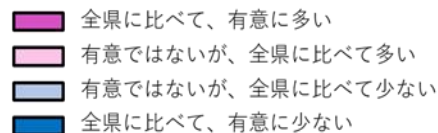


8-① 脂質異常症有病者（男性）

- ◆ 協会：該当率は56.09%で、前年度比で+0.48%（該当者は+5,005人）となった。前年度と変化なく、喫煙も一因からか全体的に東部に多い。
- ◆ 静岡県全体：該当率は56.33%なので、ほぼ同じ割合である。県全体とは傾向は似ているものの、二分化しておらず、西部地域にも、有意ではないが多い市町が含まれている。

R1特定健診 【協会けんぽ】

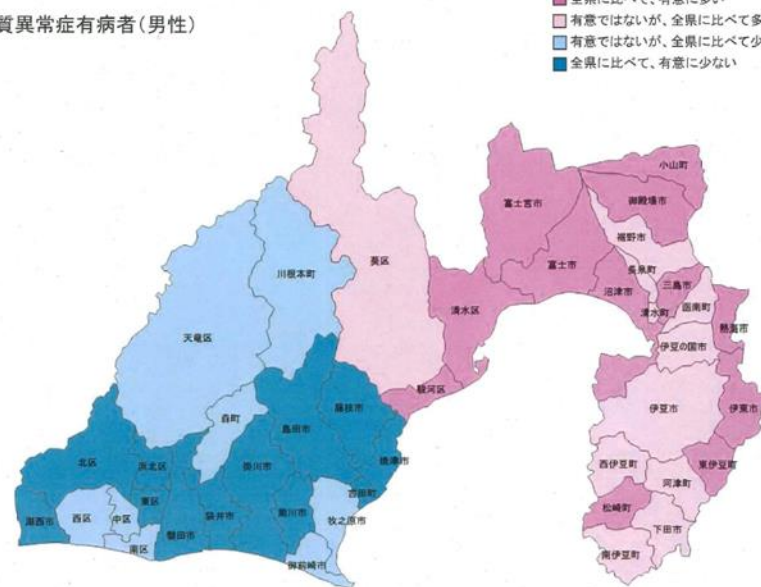
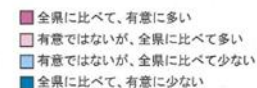
脂質異常症有病者（男性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【全県】

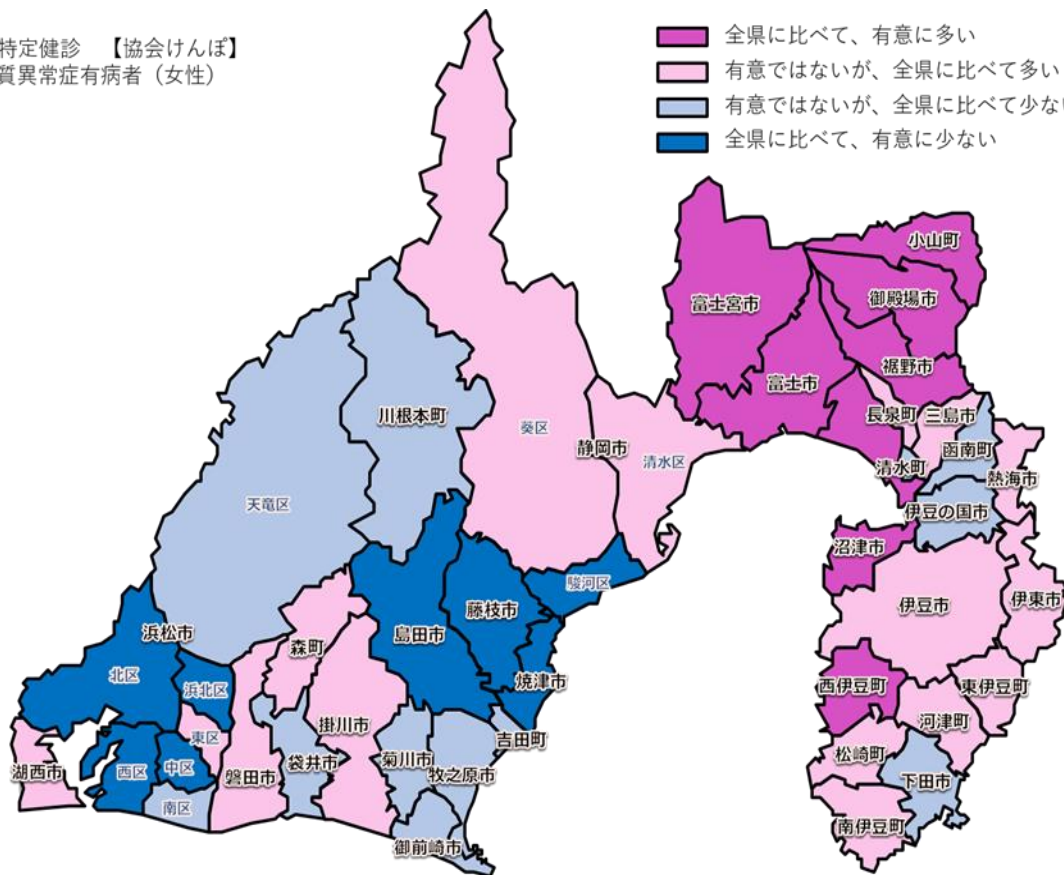
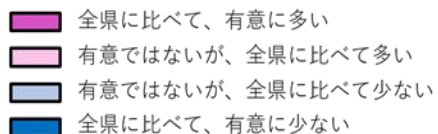
脂質異常症有病者（男性）



8-② 脂質異常症有病者（女性）

- ◆ 協会：該当率は43.41%で前年度比で-0.07%（該当者数は+8,247人）となった。今年度有意に多い沼津市は、2%弱増加し、御殿場市は4%弱増加している。
- ◆ 静岡県全体：該当率は50.06%であり、約7%協会が低い。傾向が似ているものの、西部地域の一部で、有意ではないが少ない市町がみられる。

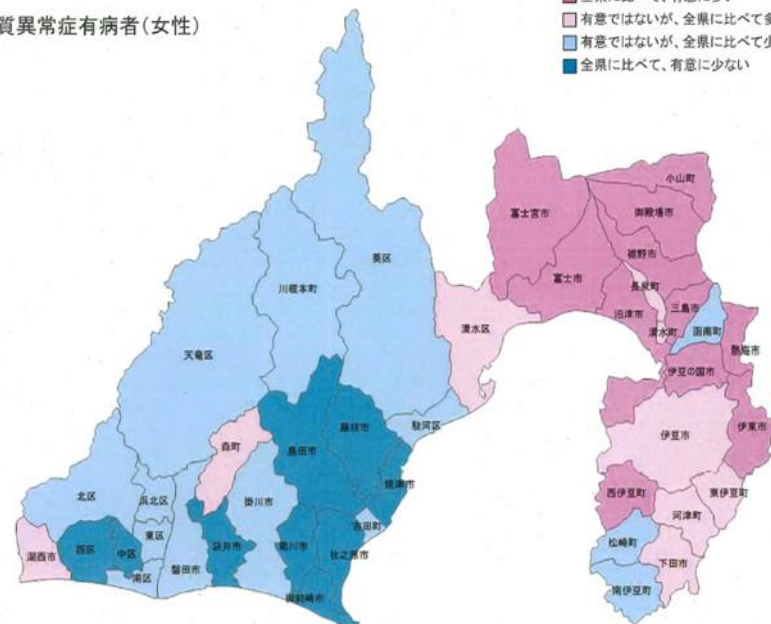
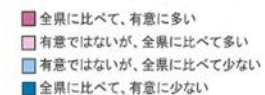
R1特定健診 【協会けんぽ】
脂質異常症有病者（女性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【全県】

脂質異常症有病者（女性）

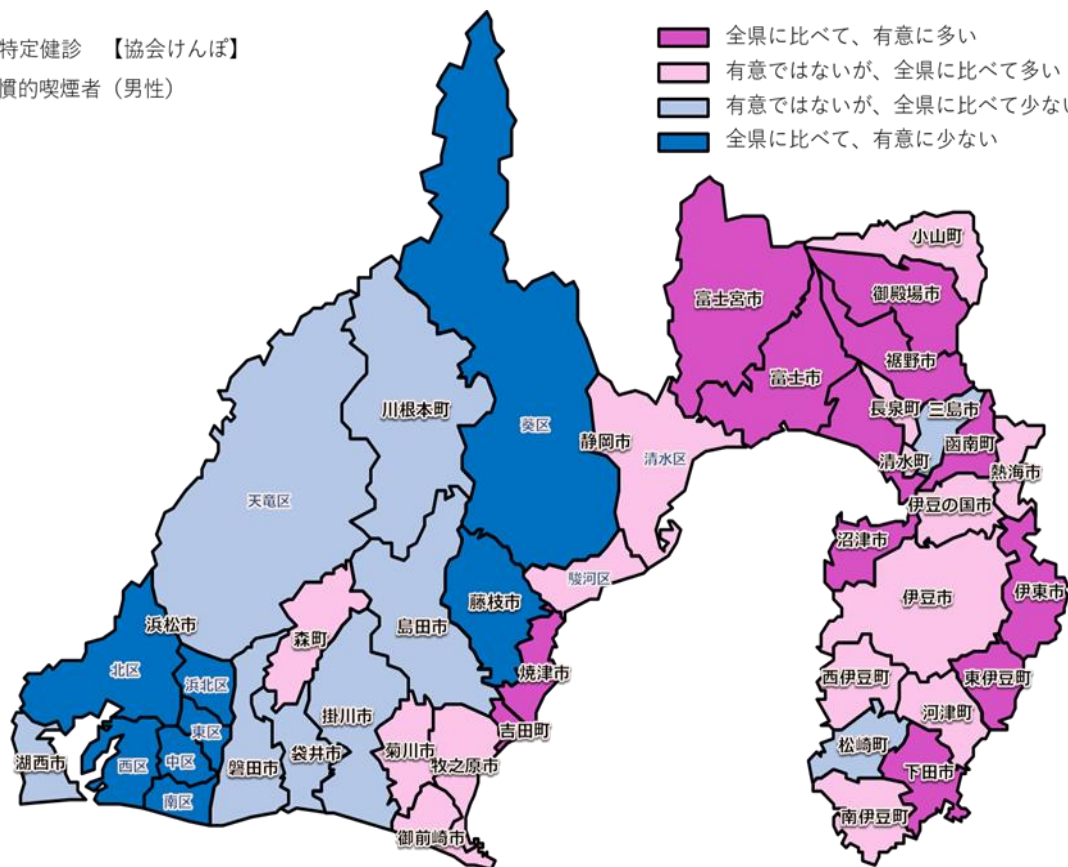
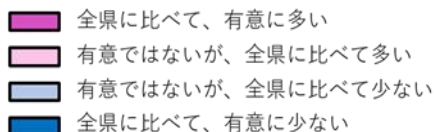


9-① 習慣的喫煙者（男性）

- ◆ 協会：該当率40.29%で、前年度よりも-0.51%（該当者は+2,263人）となっている。前年度と比較すると、ほぼ変化はみられない。ただし、40～44歳の喫煙者が-313人であり、この年齢以外は増加していたので、今後注目して見ていきたい。
- ◆ 静岡県全体：該当率32.42%で、依然として約8%高い。この差は全く縮まっていない。県全体との傾向は似ており、清水区以西は有意に少ない市町が多く、葵区以东は有意に多い市町が目立つ。

R1特定健診 【協会けんぽ】

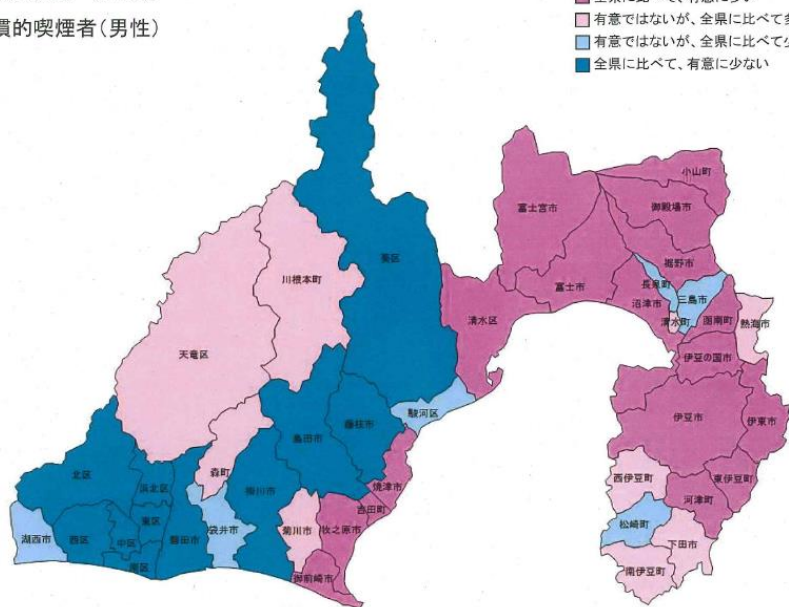
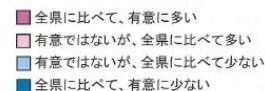
習慣的喫煙者（男性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診 【全県】

習慣的喫煙者（男性）

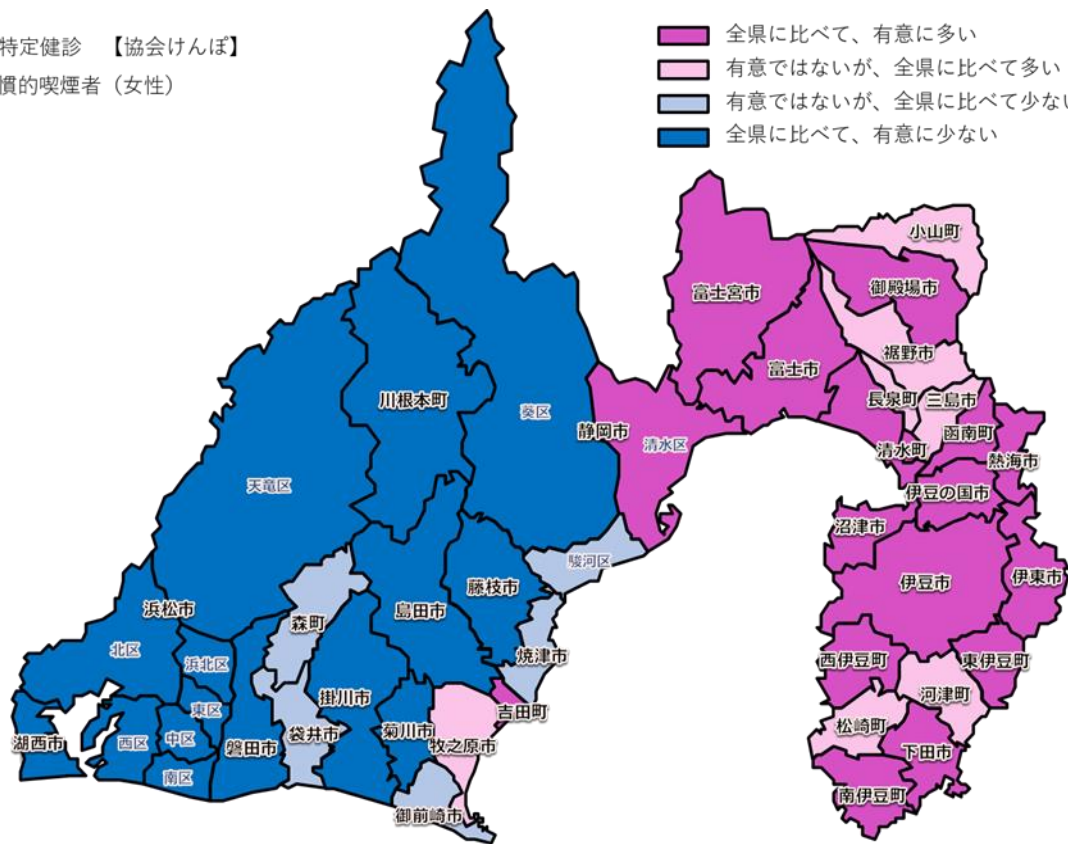
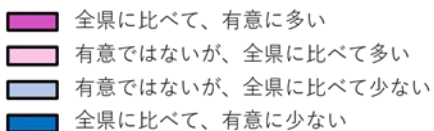


9-② 習慣的喫煙者（女性）

- ◆ 協会：該当率13.14%で、前年度よりも+0.08%（該当者は+960人）となっている。前年度と比較すると、ほぼ変化はみられない。ただし、40～44歳の女性の喫煙者が-65人であり、この年齢以外は増加していたので、今後注目して見ていきたい。
- ◆ 静岡県全体：該当率8.52%で、依然として約5%高い。この差は全く縮まっていない。県全体との傾向は似ており、ほぼ二極化している。

R1特定健診 【協会けんぽ】

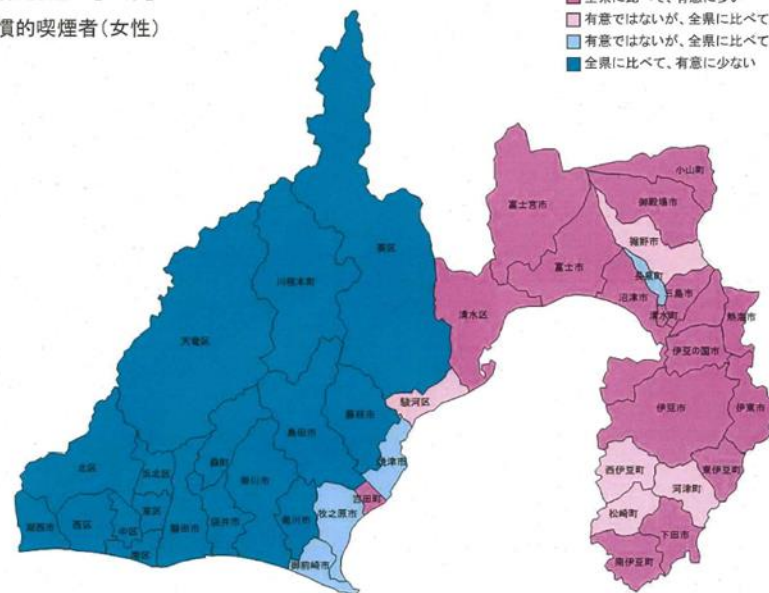
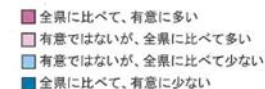
習慣的喫煙者（女性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【全県】

習慣的喫煙者（女性）

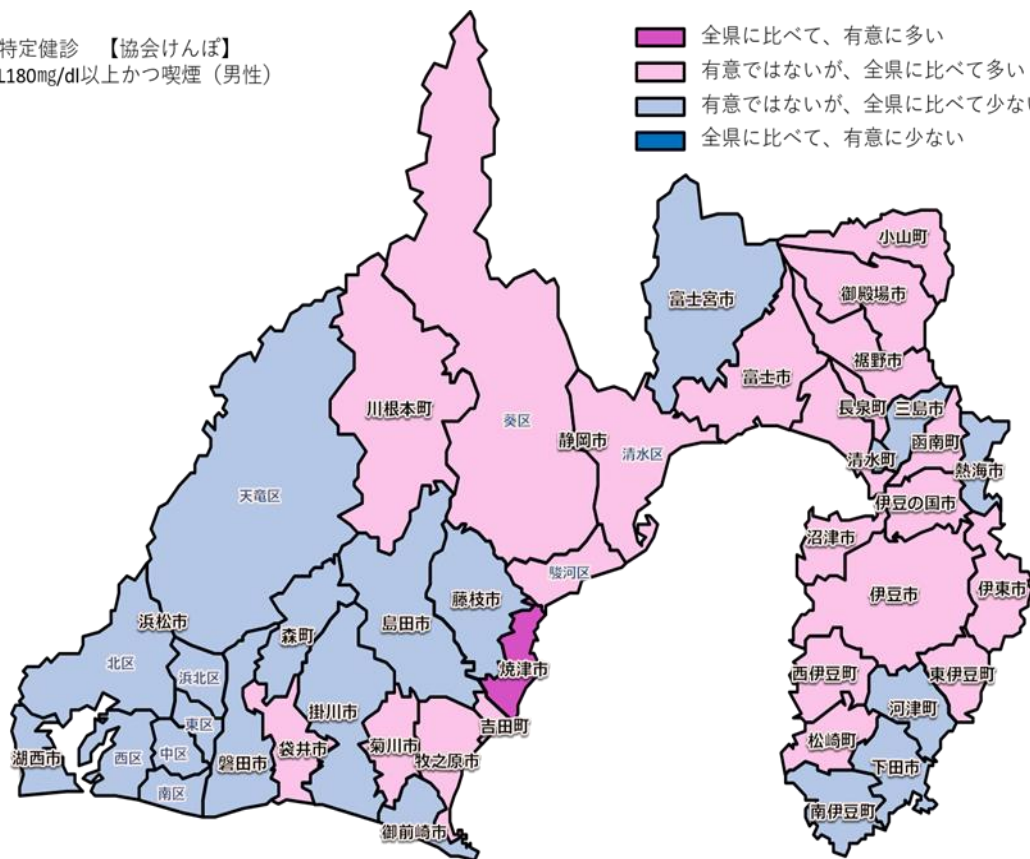


10-① LDL180mg/dl以上かつ喫煙（男性）

◆ 協会：該当率は2.44%で、前年度よりも+0.06%（該当者数は+237人）となっている。前年度と比較すると、焼津市を除いて全ての地域で平均化している。有意に多い市町が減少したが、有意に少ない市町も減少しているため、結果的に微増していると考えられる。

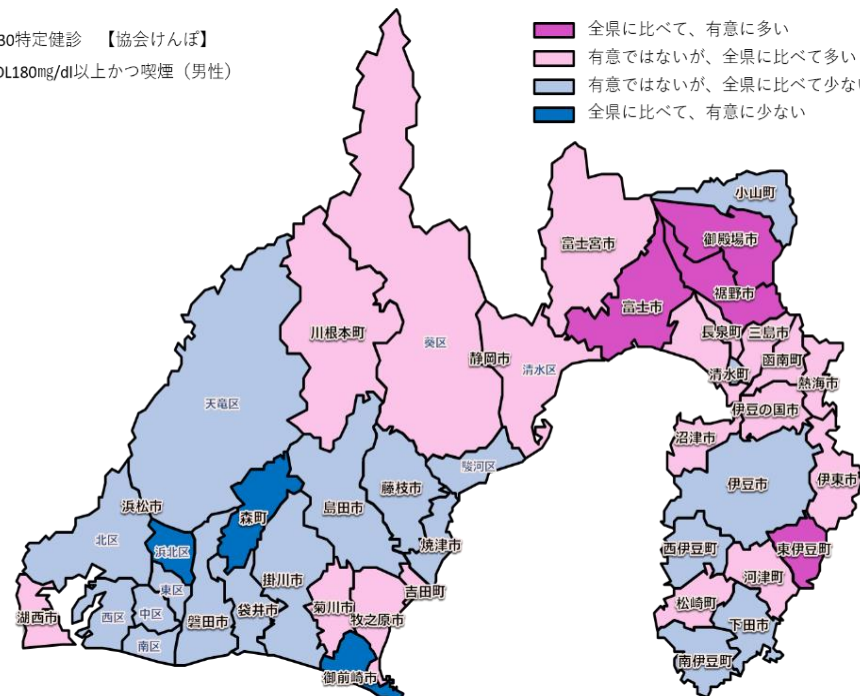
R1特定健診 【協会けんぽ】
LDL180mg/dl以上かつ喫煙（男性）

- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない



H30特定健診 【協会けんぽ】
LDL180mg/dl以上かつ喫煙（男性）

- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない



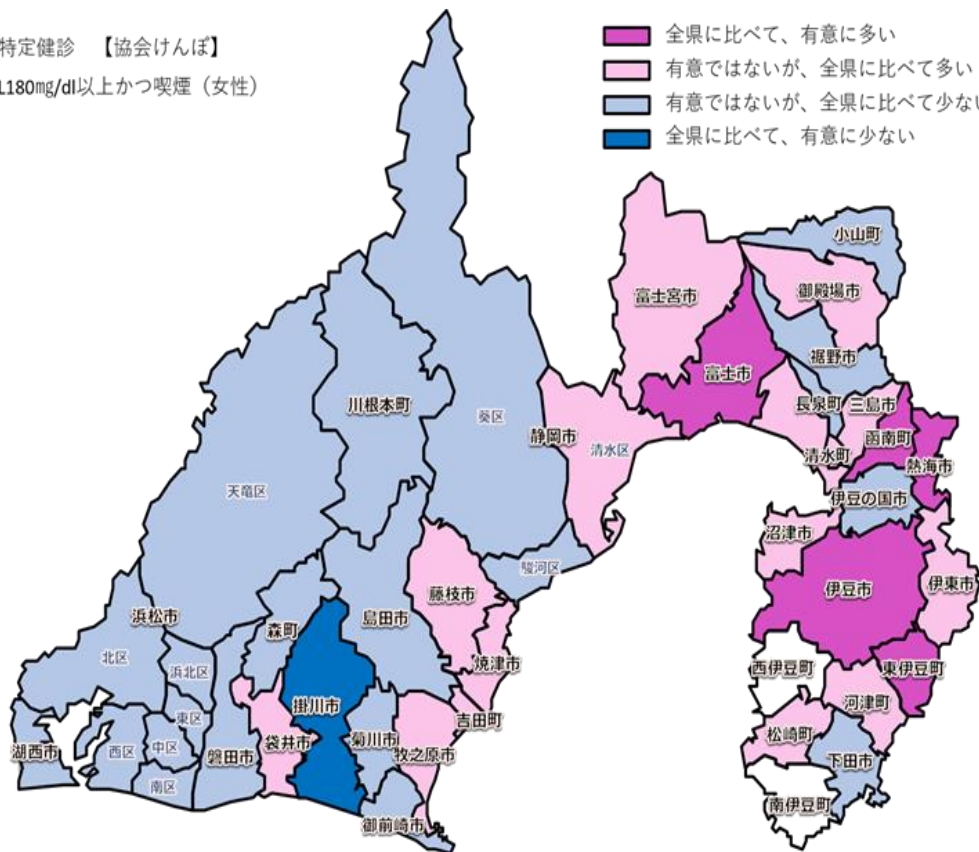
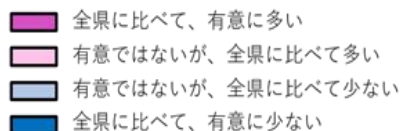
10-② LDL180mg/dl以上かつ喫煙（女性）

協会：該当者率は0.61%で、前年度よりも-0.04%（該当者数は+68人）となっている。健診受診者が増加しているため、該当者率は減少しているものの該当者数は増加している。

前年度と比較すると、県東側の有意に多い市町は減少したものの、西側の浜松市の一部や島田市などの有意に少なかった地域が有意ではなくなってしまったことが該当者数の増加を表していると考えられる。

R1特定健診 【協会けんぽ】

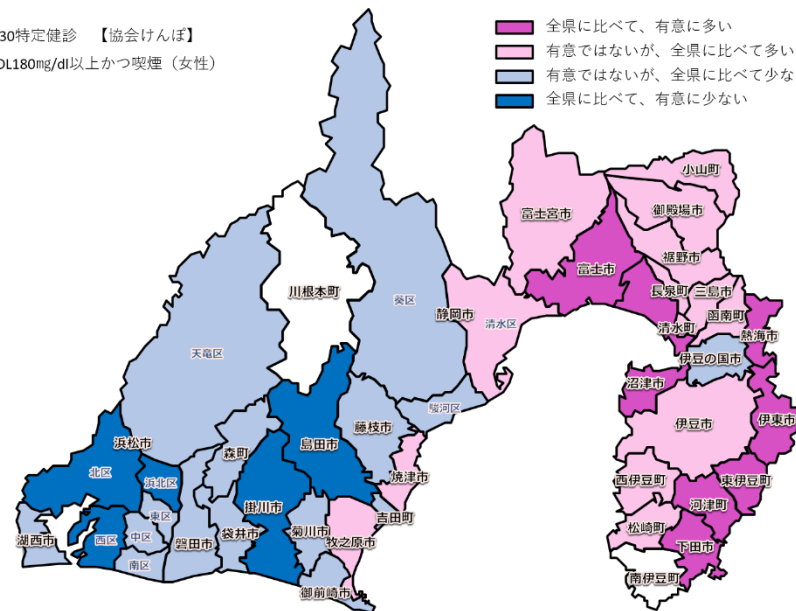
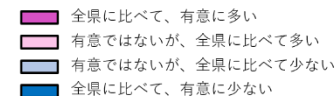
LDL180mg/dl以上かつ喫煙（女性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

H30特定健診 【協会けんぽ】

LDL180mg/dl以上かつ喫煙（女性）

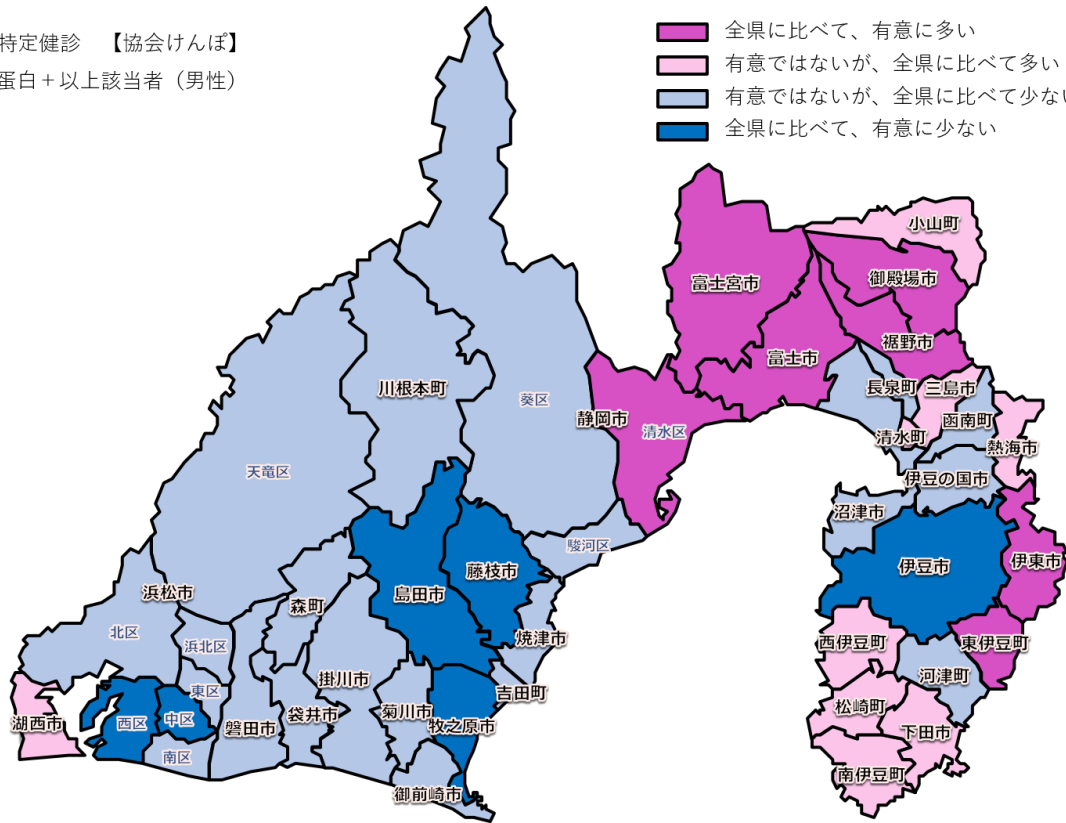
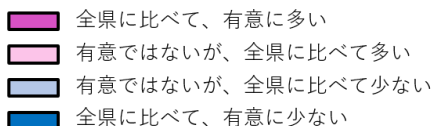


11-① 尿蛋白+以上該当者（男性）

- ◆協会：該当率は4.21%で、前年度比-0.04%（該当者数は+263人）となっている。市町が下がっているところもある中、有意に高い清水区、富士宮市、富士市は対前年+0.69%、+0.37%、+0.26%とそれぞれ増加している。比較して、西部では該当率が低く、東部においては該当率が高い傾向にある。
- ◆静岡県全体：該当率は4.29%とほぼ同率である。地域の傾向も似ているが、協会は有意に少ない市町が少ない状況である。

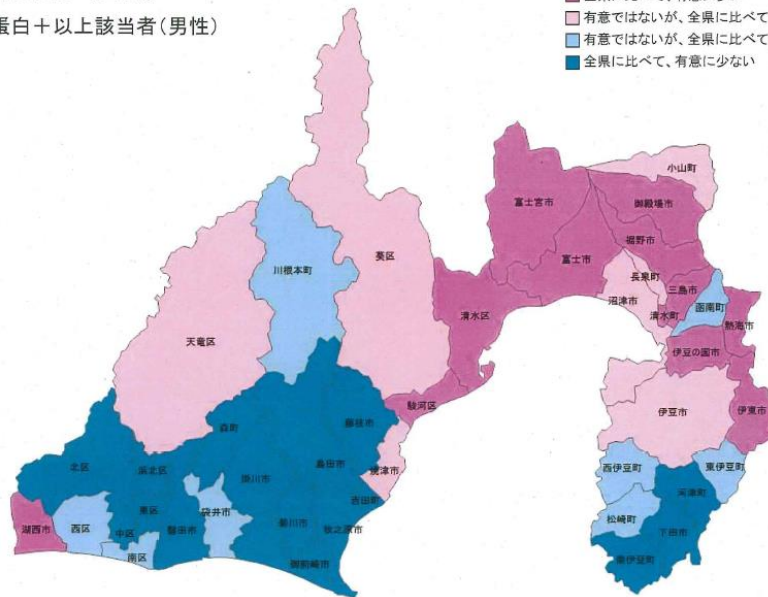
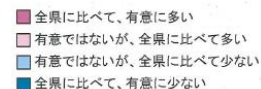
R1特定健診 【協会けんぽ】

尿蛋白+以上該当者（男性）



R1特定健診 【全県】

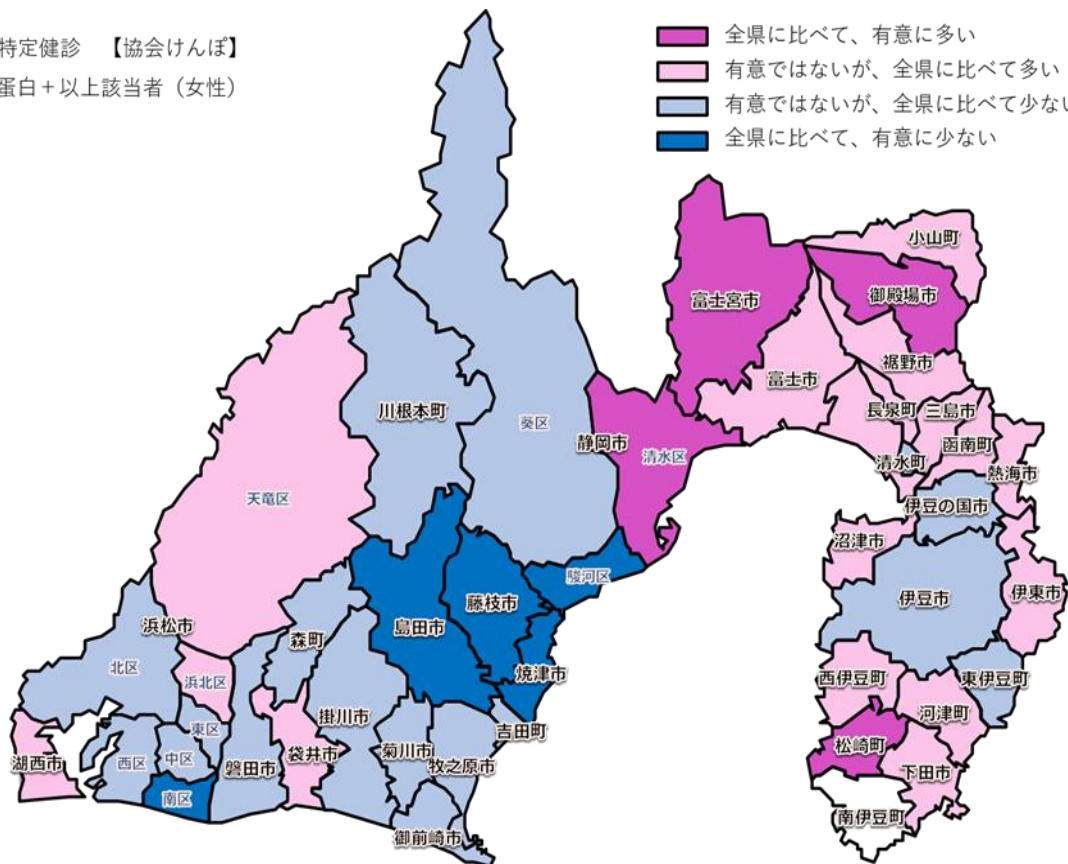
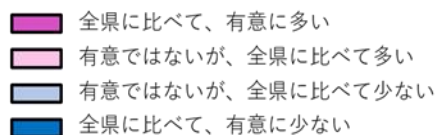
尿蛋白+以上該当者（男性）



11-② 尿蛋白+以上該当者（女性）

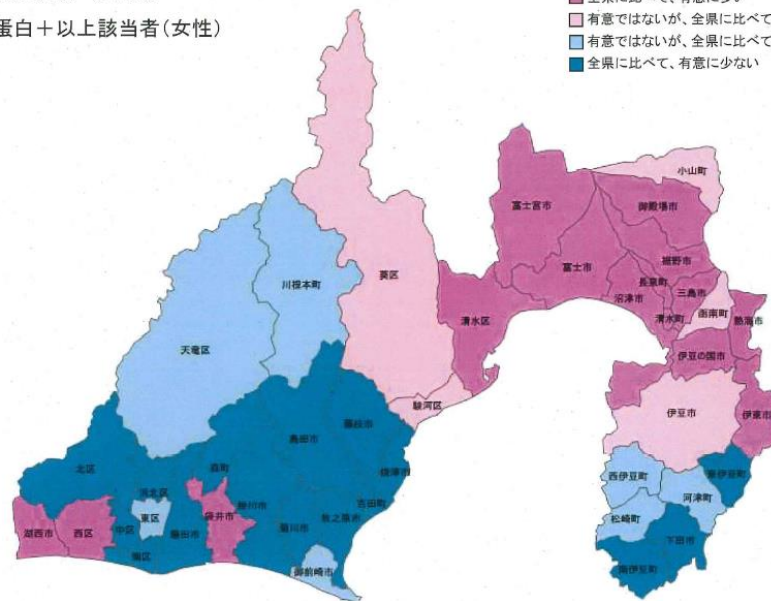
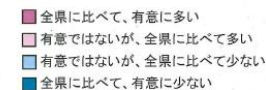
- ◆協会：該当率は1.65%で、前年度比±0%（該当者数は+100人）となっている。有意に高い清水区、富士宮市、御殿場市は対前年+0.22%、+0.26%、-0.58%である。御殿場市は減っているものの、該当率は協会平均と比較して、+1.1%である。全体的に西部では有意ではないが少ない地域が多い。
- ◆静岡県全体：2.05%と協会の方が低い。全体的に似た傾向ではあるが、有意ではないが多い、または有意ではないが少ない市町が分散している。

R1特定健診 【協会けんぽ】
尿蛋白+以上該当者（女性）

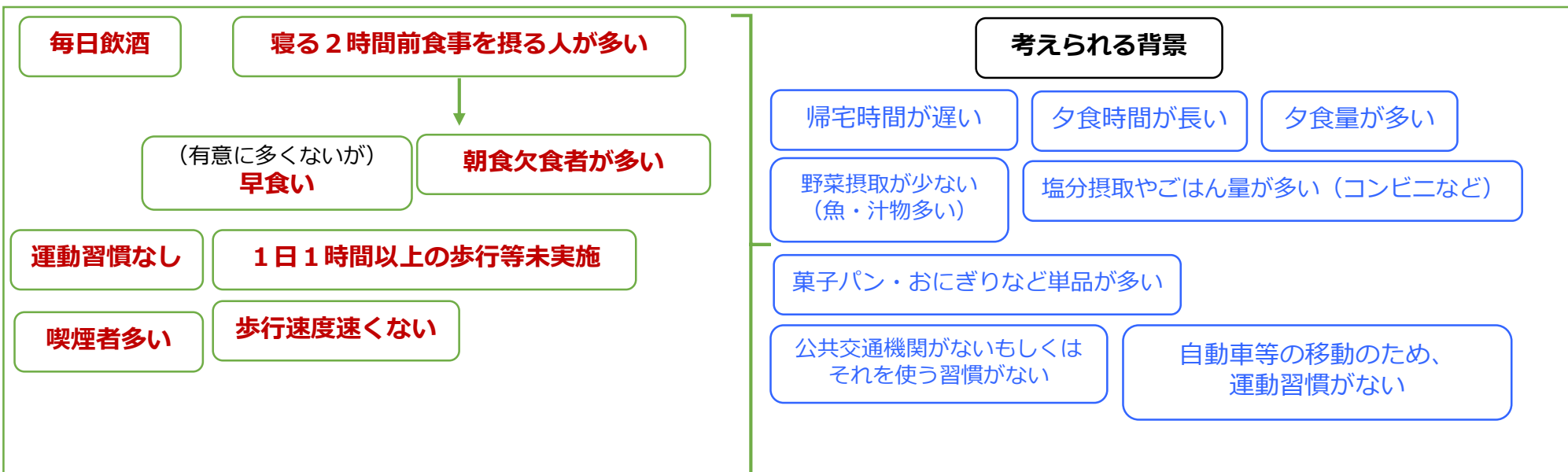


R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【全県】
尿蛋白+以上該当者（女性）



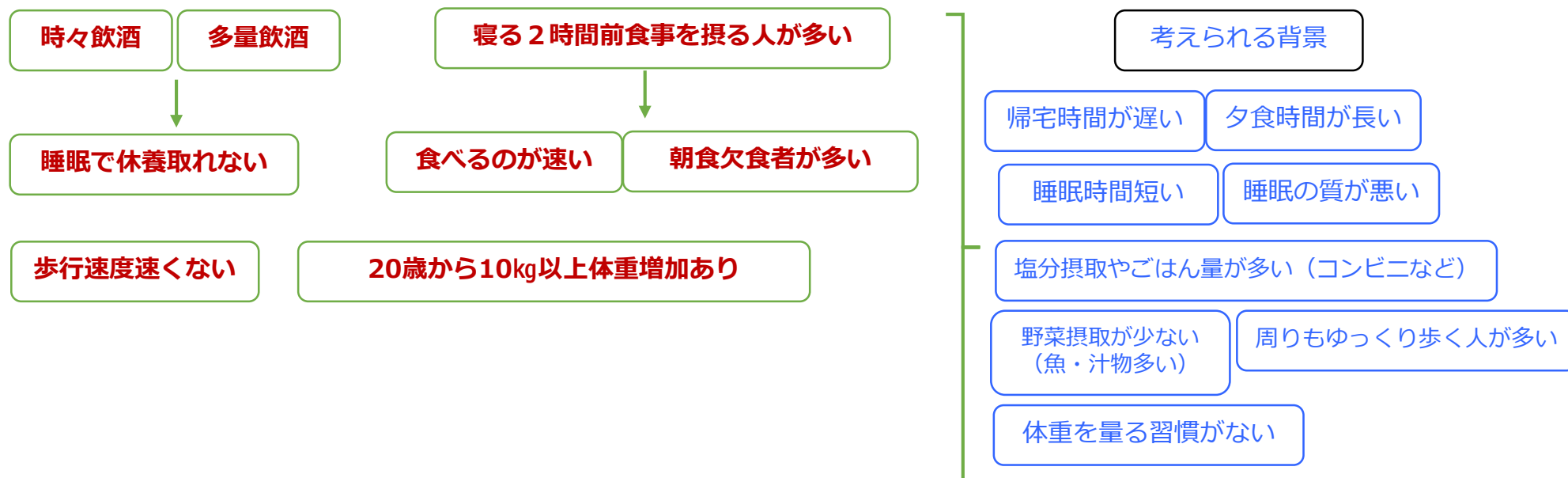
考察 ◆男性 東部地域（静岡市清水区含む）



メタボリックシンドローム、肥満者、糖尿病有病者、高血圧有病者、高血圧予備群、脂質異常症有病者、尿たんぱく（+）以上 が有意または有意ではないが多いにつながったと考えられる。

※比較的街中である沼津市、三島市などは、運動習慣があり、1日1時間以上の歩行も実施しているので、高血圧有病者及び予備群が少ないと考えられる。

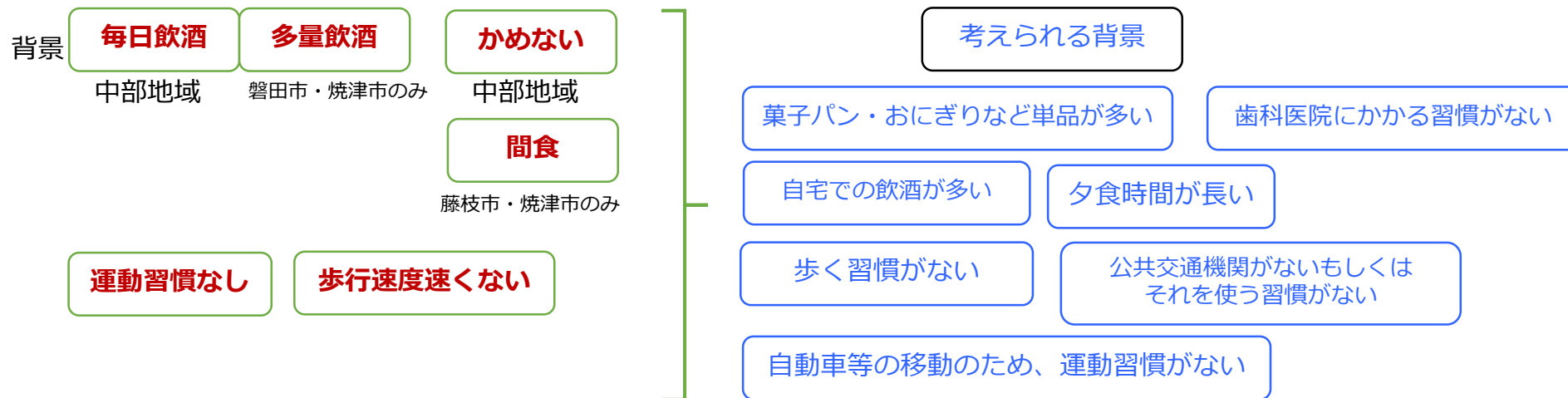
考察 男性 ◆中部地域（静岡市葵区・駿河区）



高血圧有病者、脂質異常症有病者が有意に多いにつながったと考えられる。

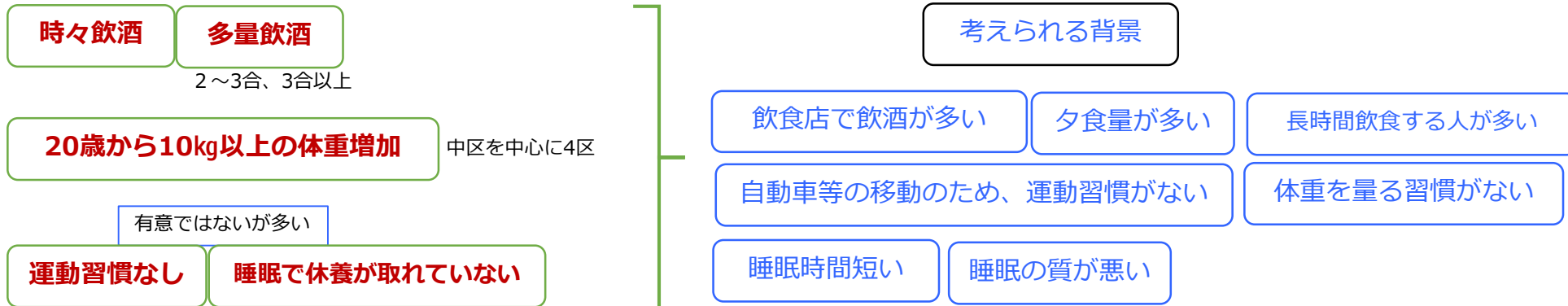
※比較的街中であるので、運動習慣があり、1日1時間以上の歩行も実施しているので、メタボリックシンドロームが少ないと考えられる。

考察 男性 ◆中部～西部地域（焼津市～磐田市：浜松市除く）



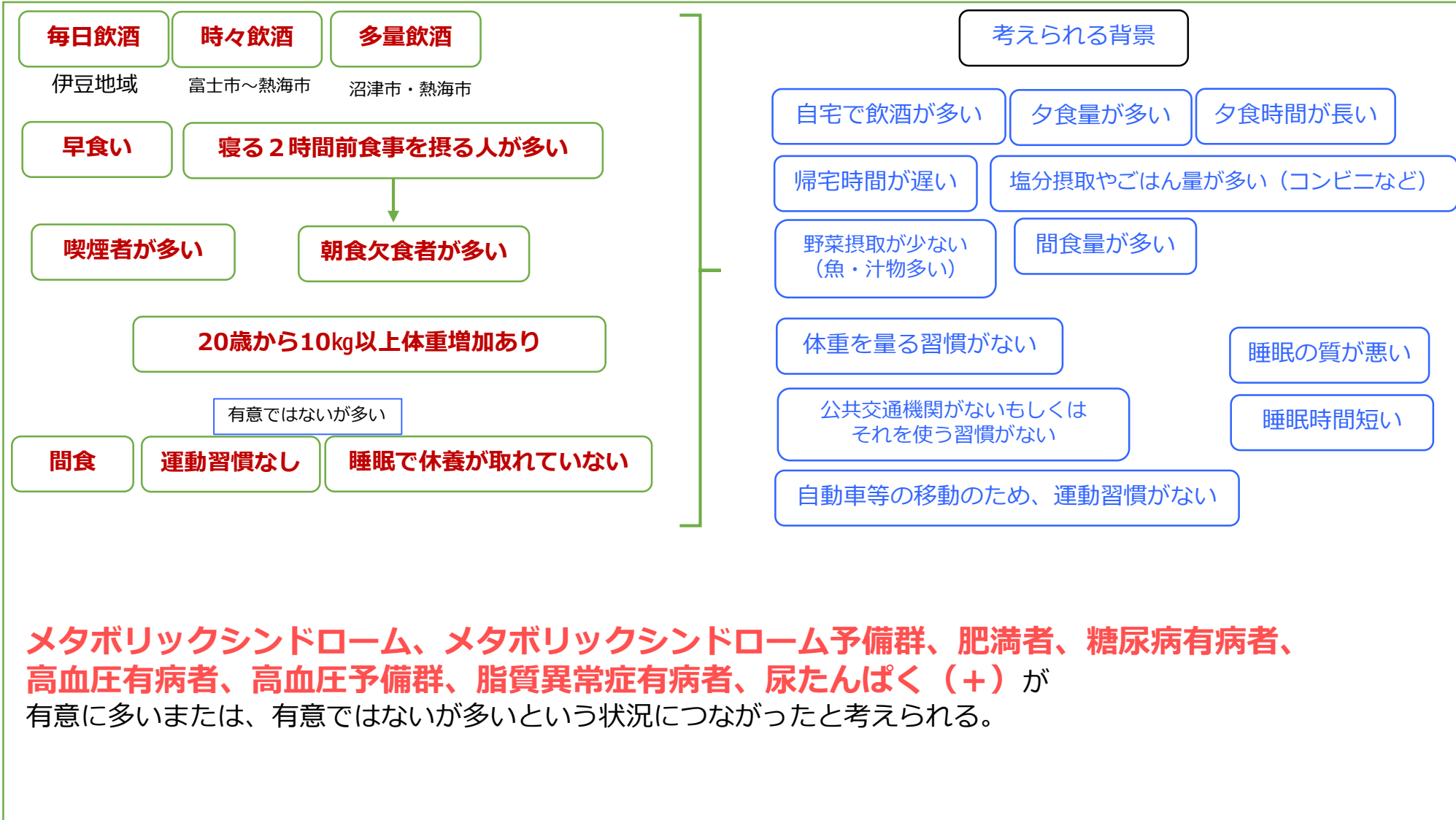
問診上、問題が多い市町は少ない。**高血圧有病者、脂質異常症有病者**が有意に多い
※若い時からの体重増加した人が有意に少ない市町が多いので、メタボリックシンドロームが少ないと考えられる。

考察 男性 ◆西部地域（浜松市）



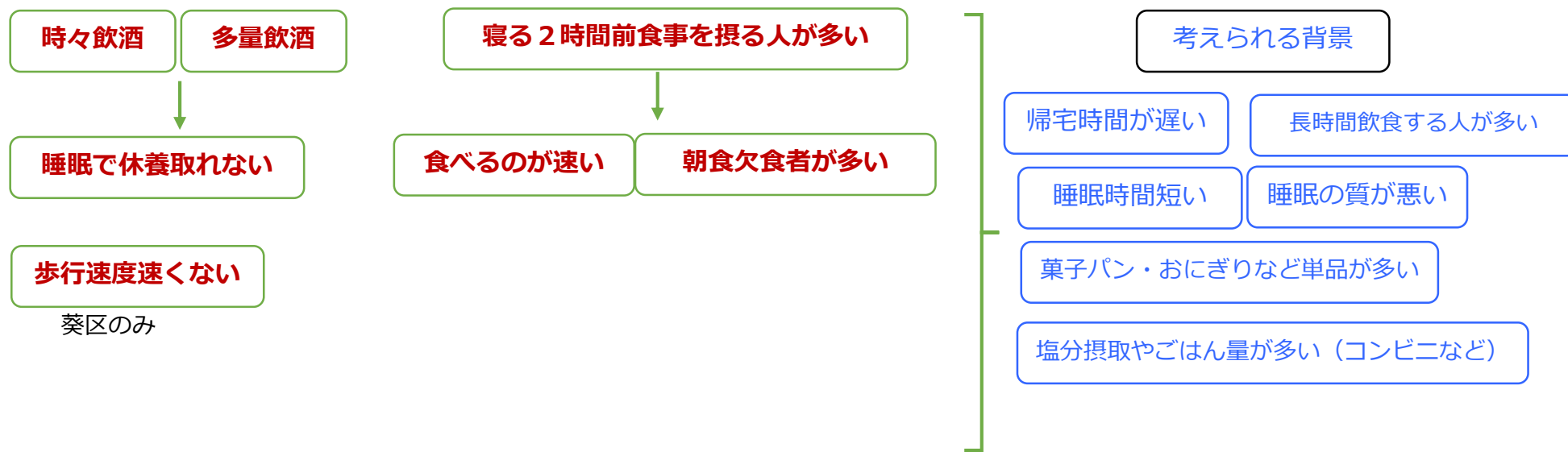
問診上、問題が多い市町が少ないが、**一部の区にメタボリックシンドローム予備群と肥満者、全体的に糖尿病予備群**は有意に多い。運動習慣がない影響を受けている可能性がある。

考察 女性 ◆東部地域（静岡市清水区含む）



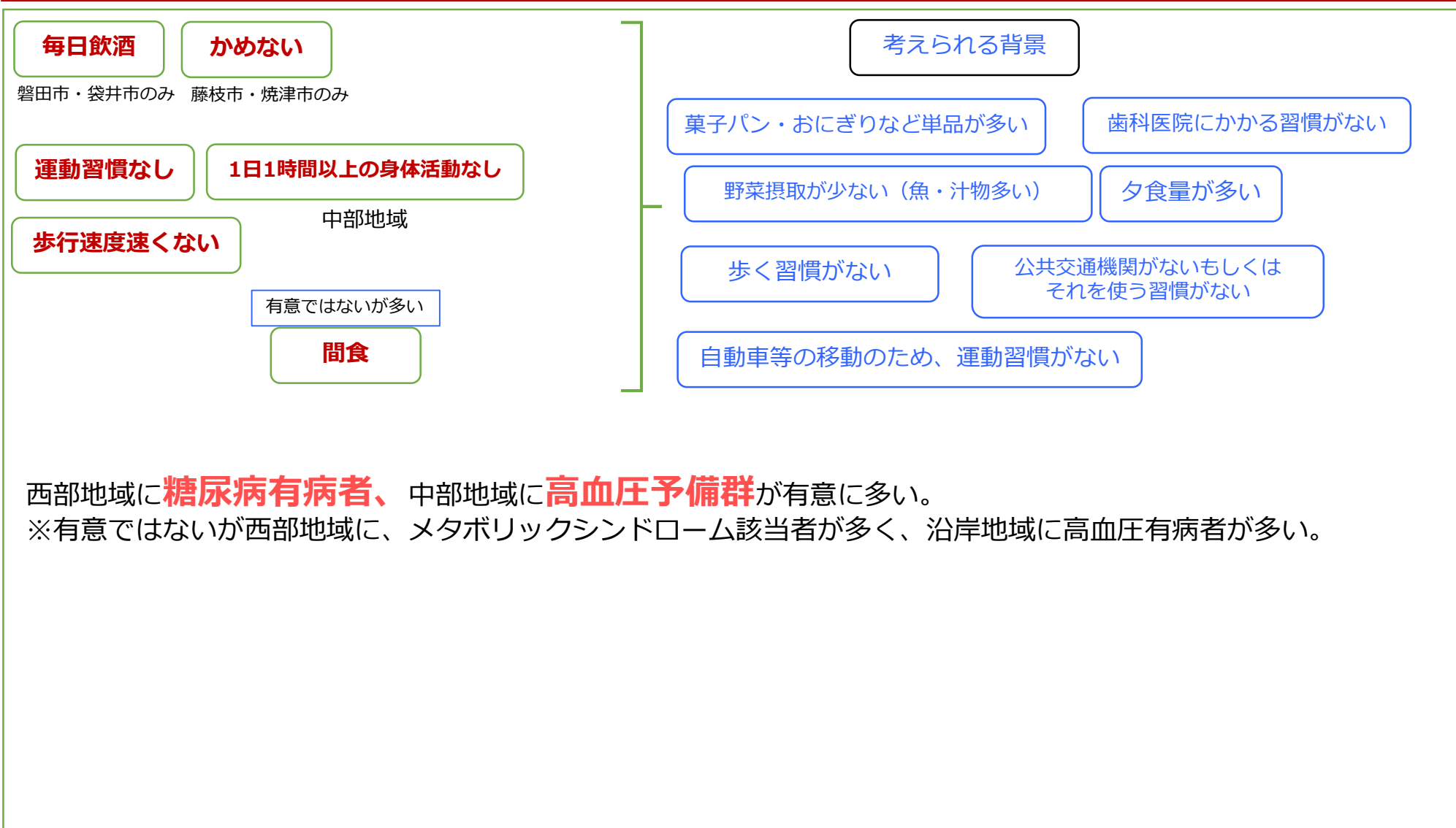
メタボリックシンドローム、メタボリックシンドローム予備群、肥満者、糖尿病有病者、高血圧有病者、高血圧予備群、脂質異常症有病者、尿たんぱく（+）が有意に多いまたは、有意ではないが多いという状況につながったと考えられる。

考察 女性 ◆中部地域（静岡市葵区・駿河区）



有意に多い疾患はなく、高血圧有病者と、脂質異常症有病者が葵区のみ有意ではないが多かった。
※比較的街中であるので、運動習慣があり、1日1時間以上の歩行も実施しているので、健康状態が良いのではないかと考えられる。

考察 女性 ◆中部～西部地域（焼津市～磐田市：浜松市除く）



西部地域に**糖尿病有病者**、中部地域に**高血圧予備群**が有意に多い。

※有意ではないが西部地域に、メタボリックシンドローム該当者が多く、沿岸地域に高血圧有病者が多い。

考察 女性 ◆西部地域（浜松市）

